

コマツ
2017年度 第1四半期(4-6月)
決算説明会
【電話会議】

2017年7月28日(金)

コマツ出席者

代表取締役副社長(兼)CFO 藤塚 主夫
常務執行役員経営管理部長 稲垣 泰弘

I. 2017年度 第1四半期(4-6月)決算の概要 <P4-P10>

- P4-5 : 2017年度第1四半期(4-6月)の概況・各セグメント売上高と利益
P6-7 : <建設機械・車両> 2017年度第1四半期(4-6月)の状況
P8 : <リテールファイナンス> 2017年度第1四半期(4-6月)の状況
P9 : <産業機械他> 2017年度第1四半期(4-6月)の状況
P10 : 連結貸借対照表

II. 2017年度の見通し <P12-P21>

- P12-17 : <建設・鉱山機械> 主要7建機の需要推移と見通し(全体及び地域別)
P18-19 : <建設・鉱山機械> 鉱山機械の状況
P20 : <建設・鉱山機械> 部品の売上高
P21 : <建設・鉱山機械> KMC*の概況

参考資料 <P23-P30>

- P23-27 : 四半期毎の状況
P28-30 : BBレシオ〔受注/売上指数(6ヶ月)〕

* KMCはコマツマイニング(Komatsu Mining Corp.)を示す。

I. 2017年度 第1四半期（4-6月）決算の概要

注記

本年4月5日、ジョイ・グローバル社(Joy Global Inc.)の買収が完了しました。その後、4月19日に商号をコマツマイニング（Komatsu Mining Corp.（以下KMC））に変更しています。当第1四半期の決算数値より、連結子会社となったKMCの業績が含まれています。

- ・ 連結売上高は前年同期比+44.2%増収の5,612億円。
- ・ 営業利益は前年同期比+75.9%増益の524億円。売上高営業利益率は同+1.6ポイント増の9.3%。
- ・ 純利益は前年同期比+133.5%増益の363億円。

金額単位：億円	2016年4-6月 ¥109.8/USD ¥124.3/EUR ¥16.9/RMB	2017年4-6月		前年同期比		
		¥111.2/USD ¥121.6/EUR ¥16.3/RMB	*1 従来コマツ	KMC	増減	増減率
連結売上高	3,892	5,612	4,872	739	+1,719	+44.2%
セグメント利益 (▲損失)	290	529	659	*2 ▲129	+239	+82.8%
その他の営業収益(▲費用)	7	▲5	▲5	-	▲13	-
営業利益 (▲損失)	297	524	653	*2 ▲129	+226	+75.9%
売上高営業利益率 (▲損失率)	7.7%	9.3%	13.4%	▲17.5%	+1.6ポイント	-
その他の収益(▲費用)	▲55	▲43			+12	-
税引前純利益	242	480			+238	+98.7%
純利益 *3	155	363			+208	+133.5%

*1 KMCの影響を除いたコマツの従来ベースの業績を示している。

*2 KMCのセグメント損失および営業損失には右記の一時費用の影響が含まれている。

*3 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する当期純利益」

PPAによる償却費 ※	▲166億円
スタートアップ費用ほか	▲26億円
合計	▲193億円

※ PPAは Purchase Price Allocation
(パーチェス・プライス・アロケーション)の略
資産・負債を公正価値評価/配分する手続き

- ・建設機械・車両部門の売上高は+49.2%増収の5,150億円。セグメント利益は+81.8%増益の479億円。セグメント利益率は+1.7ポイント改善し、9.3%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は+48.0%増収の175億円。セグメント利益は+76.4%増益の33億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、+11.2%増収の386億円。セグメント利益は+38.9%増益の23億円。

□ : 利益(▲損失)率 () : 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2016年4-6月		2017年4-6月		前年同期比	
			従来コマツ	KMC	増減	増減率
売上高	3,892	5,612	4,872	739	+1,719	+44.2%
建設機械・車両	(3,434) 3,451	(5,109) 5,150	(4,370) 4,410	(739) 739	(+1,675)+1,698	(+48.8%) +49.2%
リテールファイナンス	(113) 118	(119) 175	(119) 175	-	(+6) +56	(+6.0%) +48.0%
産業機械他	(345) 347	(382) 386	(382) 386	-	(+37) +38	(+10.8%) +11.2%
消去	▲25	▲100	▲100	-	▲75	-
セグメント利益 (▲損失)	7.5% 290	9.4% 529	13.5% 659	▲17.5% ▲129	+239	+82.8%
建設機械・車両	7.6% 263	9.3% 479	13.8% 609	▲17.5% ▲129	+215	+81.8%
リテールファイナンス	15.9% 18	18.9% 33	18.9% 33	-	+14	+76.4%
産業機械他	4.9% 17	6.1% 23	6.1% 23	-	+6	+38.9%
消去または全社	▲9	▲6	▲6	-	+2	-

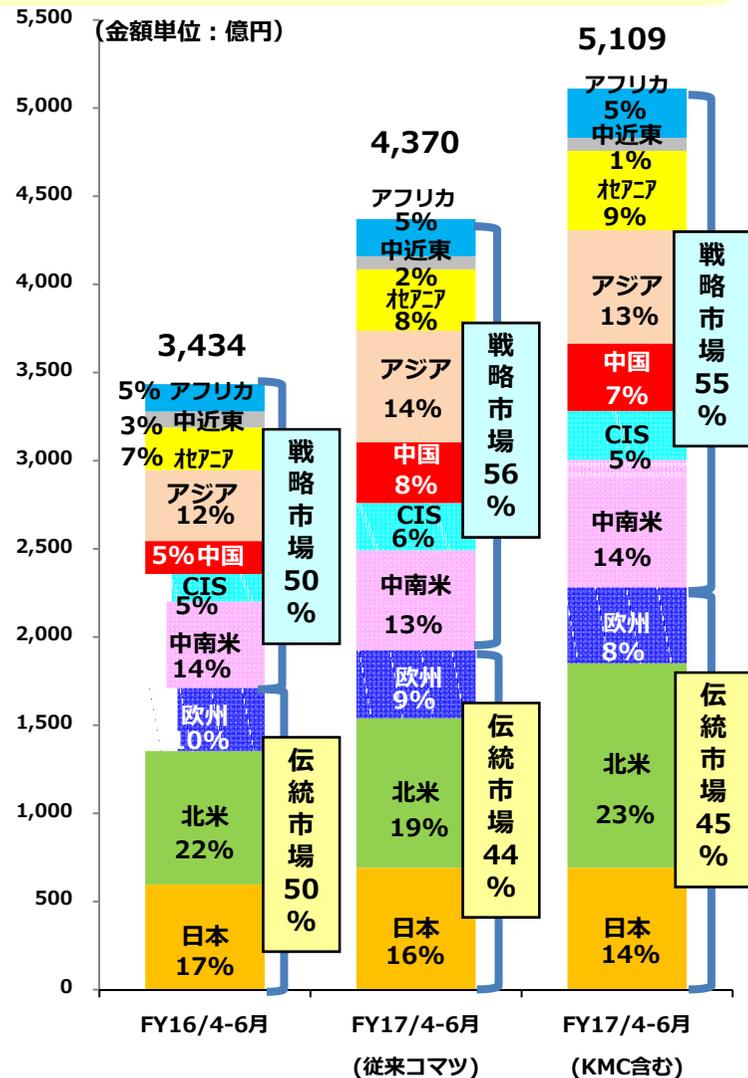
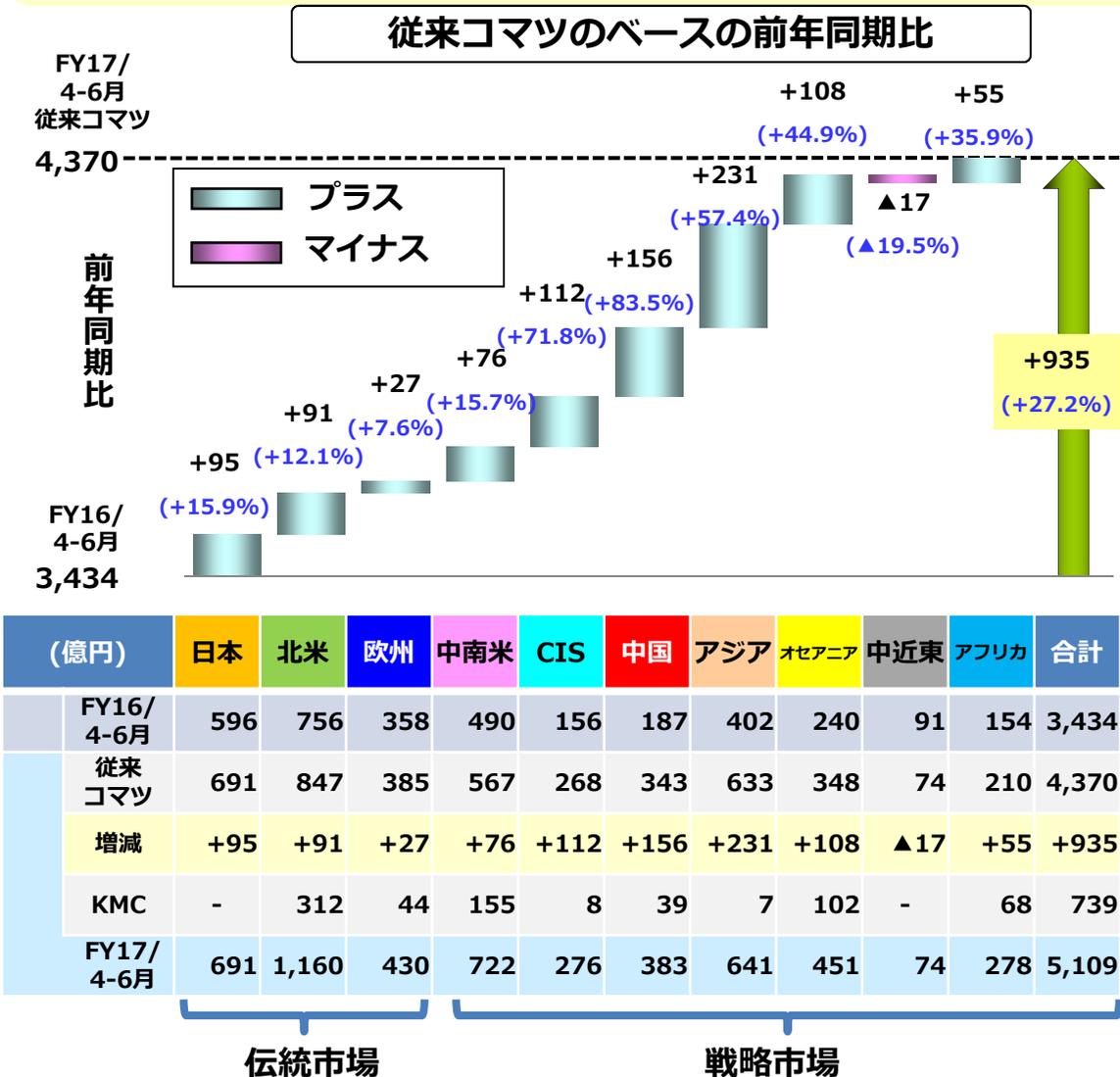
各セグメントの状況：

- 建設機械・車両
需要が回復している中国やインドネシアでの売上増加及びKMCの新規連結の効果により増収。利益面はKMCの一時費用のマイナス影響でKMCは営業損失となったが、従来コマツのベースでの利益拡大が図られた結果、全体として増益。
- リテールファイナンス
チリでの売上増加などに伴い、増収。利益面も、前年同期に計上した中国での債権に係る引当金の影響が無くなったことから増益。
- 産業機械他
コマツ産機やコマツNTCでの売上増加に伴い、全体で増収増益。

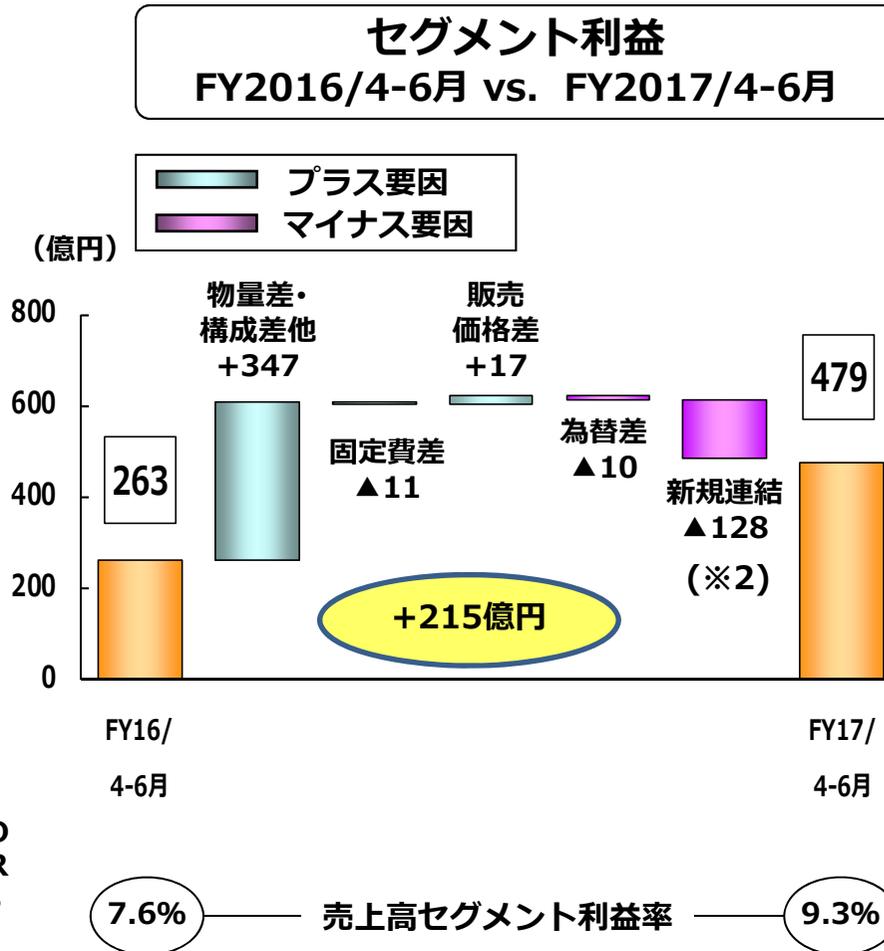
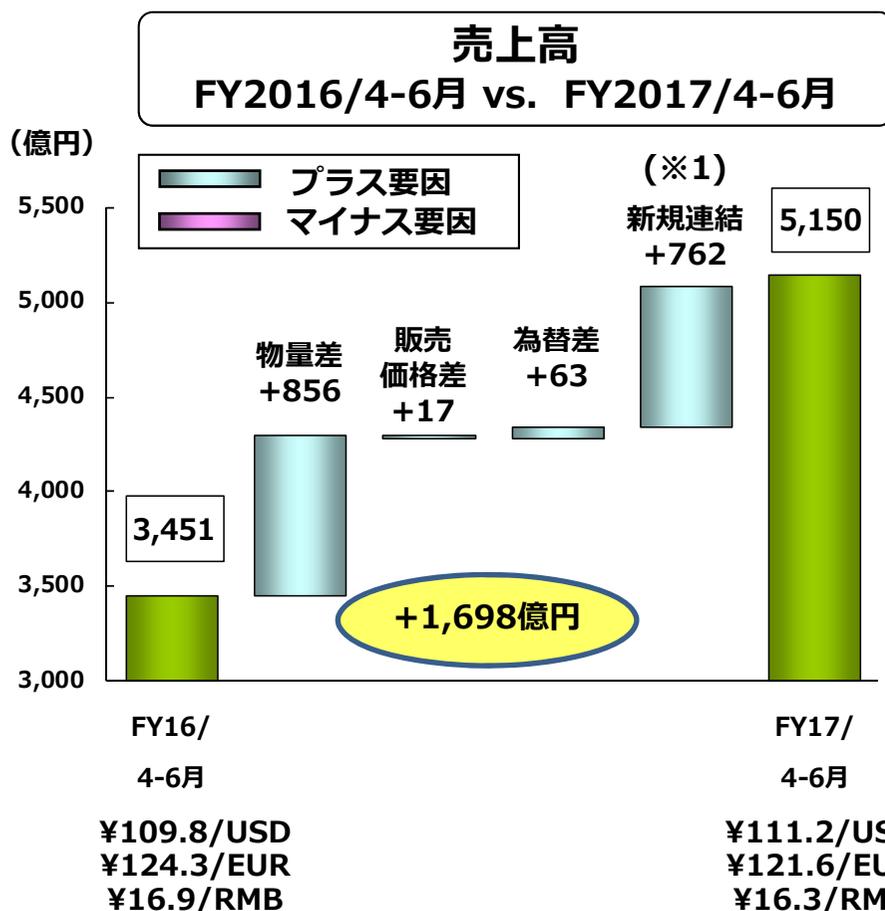
2017年度 第1四半期(4-6月)の地域別売上高 (外部顧客向け)

- 外部顧客向け売上高は前年同期比+48.8%増収の5,109億円。そのうち、KMCを除く従来コマツのベースでは前年同期比+27.2%増収の4,370億円。
- 従来コマツのベースでは、中近東を除くすべての地域で売上高が増加。特に、中国・CISでの売上の伸び率が大きい。戦略市場の比率は56%に上昇。(KMCを含む全体での戦略市場比率は55%)

従来コマツのベースの前年同期比



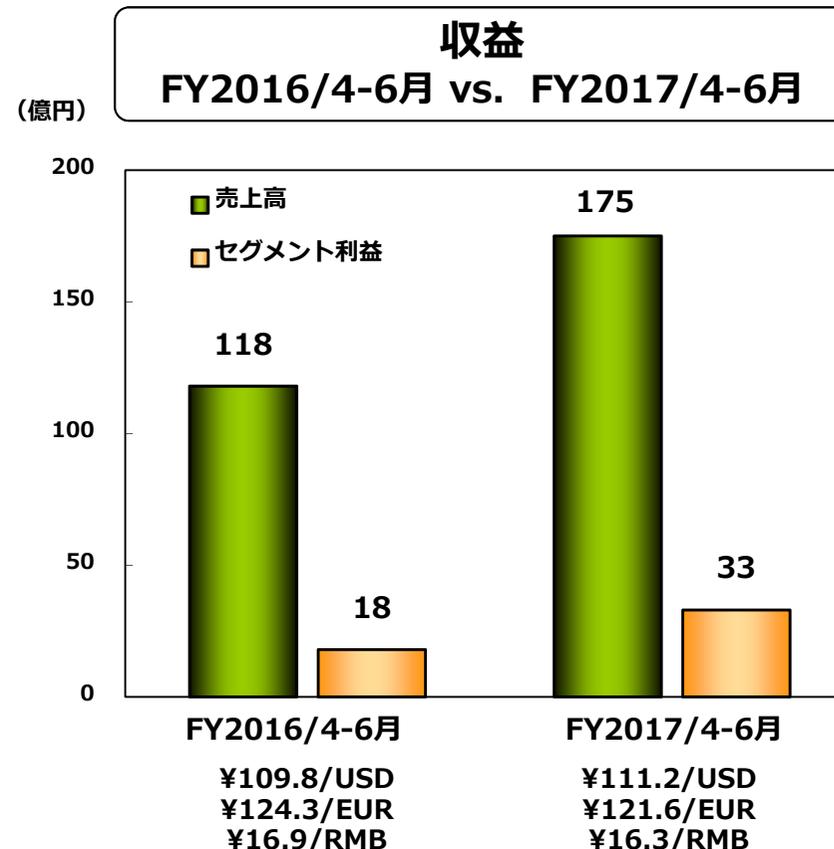
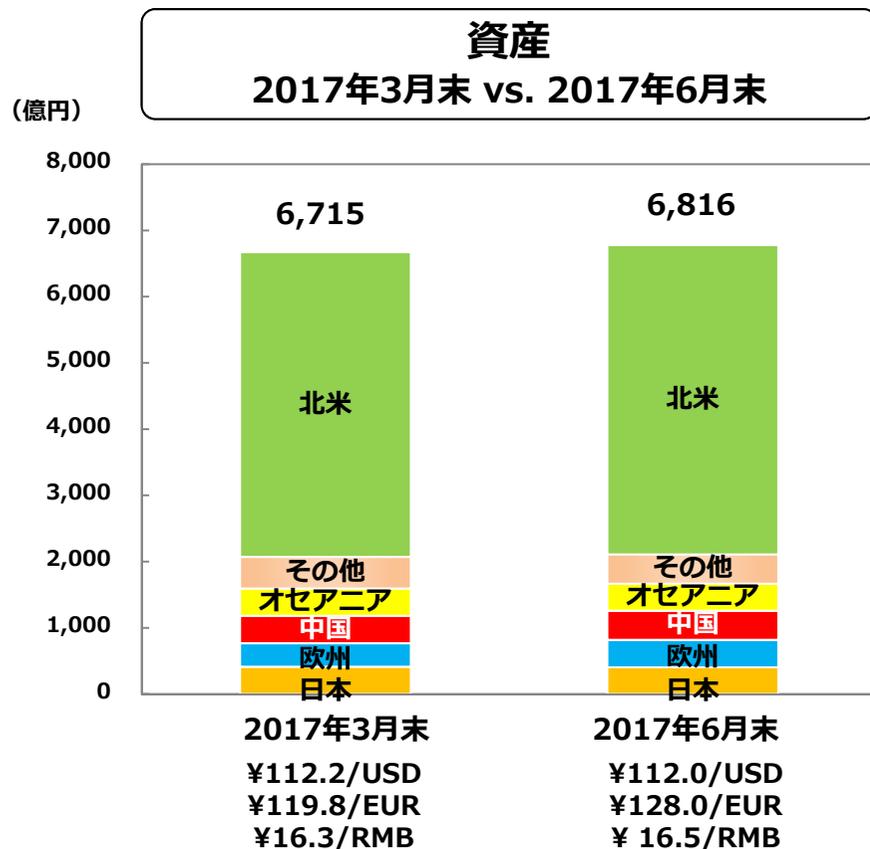
- ・売上高は物量の増加、為替のプラス影響に加え、KMCの新規連結の影響により、前年同期比+1,698億円の増収。セグメント利益はKMCの一時費用のマイナス影響があるものの全体としては+215億円の増益。
- ・売上高セグメント利益率は前年同期比+1.7ポイント増の9.3%。



(※1) KMC新規連結の影響+739億円を含む

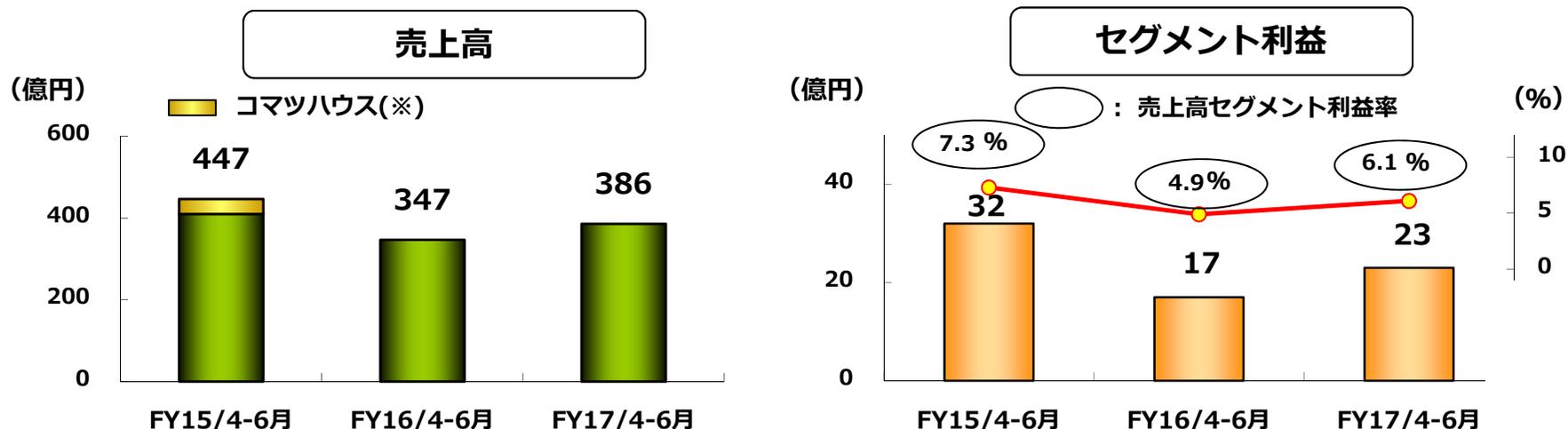
(※2) KMC新規連結の影響▲129億円を含む

- ・ 資産は主に北米等でファイナンス契約が増えたことにより増加。
- ・ 収益は主として、前年同期に中国で計上した引当金の影響が無くなったことにより増益。



金額単位：億円	2017/3E	2017/6E	2017/3E比
借入金	5,060	5,157	+97
ネットベースの借入金	5,012	5,118	+105
ネットD/Eレシオ	3.65	3.64	▲0.01ポイント

・売上高はコマツ産機やコマツNTCで売上が増加したことにより、前年同期比+11.2%増収の386億円。
売上高セグメント利益率は6.1%。



売上高の内訳

金額単位：億円	2015年 4-6月	2016年 4-6月	2017年 4-6月	前年同期比	
				増減	増減率
コマツ産機等(プレス事業合計)	128	77	90	+13	+17.4%
コマツNTC [うち、ワイヤーソー]	140 [11]	126 [55]	145 [7]	+18 [▲47]	+15.0% [▲86.5%]
ギガフォトン	83	85	83	▲1	▲2.3%
コマツハウス(※)	37	-	-	-	-
その他	58	58	67	+8	+14.5%
合計	447	347	386	+38	+11.2%

(※) 2016年4月28日に発行済株式総数の85%に相当する株式を日成ビルド工業株式会社に譲渡

連結貸借対照表

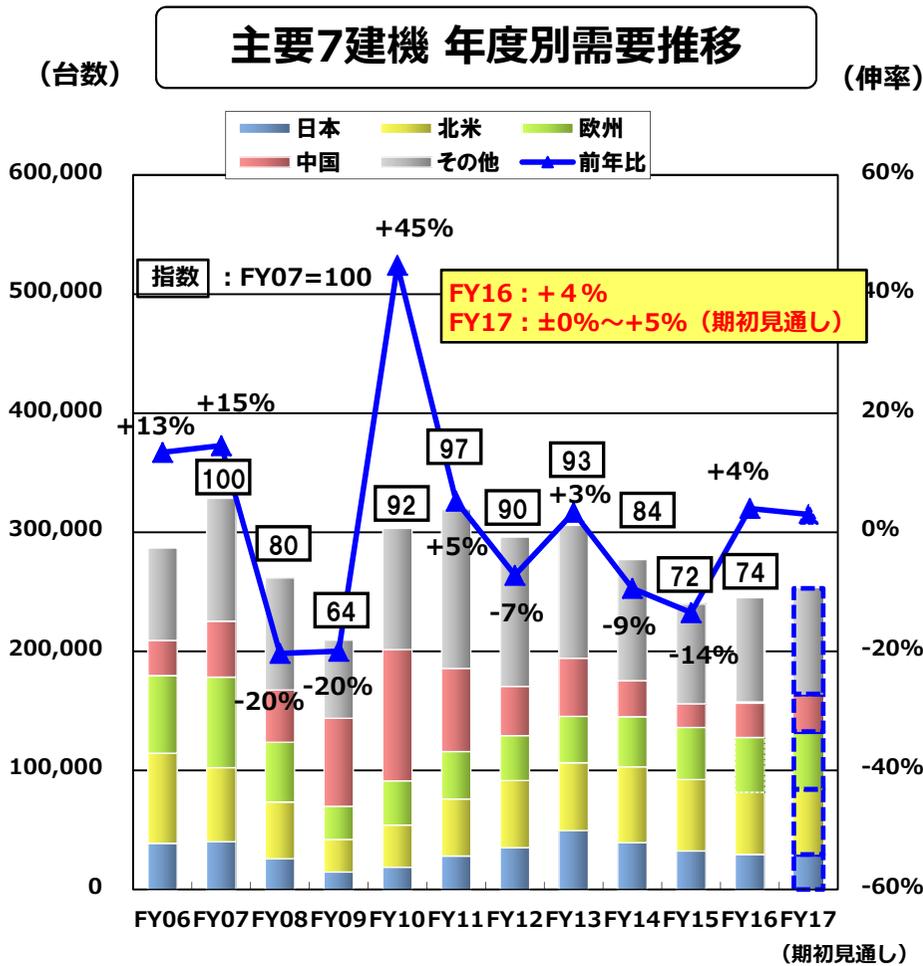
- ・総資産はKMCの新規連結の影響、および棚卸資産が増加したことに伴い、前年度末比で+5,990億円の増加。
- ・借入金・社債については、KMC買収等により、前年度末比で+4,425億円増加の8,513億円。
- ・株主資本比率は前年度末比▲10.3ポイント減の49.1%。

(金額単位：億円)	2017年3月末 ¥112.2/USD ¥119.8/EUR ¥ 16.3/RMB	2017年6月末 ¥112.0/USD ¥128.0/EUR ¥ 16.5/RMB	増減	2017年6月末 KMC 新規連結の影響
現金・預金（含む定期預金） [a]	1,221	1,527	+306	162
受取手形・売掛金（含む長期売上債権）	9,332	9,940	+608	771
棚卸資産	5,338	6,870	+1,531	1,101
有形固定資産	6,790	7,604	+814	859
その他資産	3,881	6,611	+2,729	2,850
資産合計	26,564	32,555	+5,990	5,744
支払手形・買掛金	2,401	2,794	+393	312
借入金・社債 [b]	4,087	8,513	+4,425	1,044
その他負債	3,591	4,509	+917	1,198
負債合計	10,079	15,816	+5,737	2,554
(株主資本比率)	(59.4%)	(49.1%)	(▲10.3ポイント)	
株主資本	15,766	15,996	+230	
非支配持分	718	741	+23	
負債及び純資産合計	26,564	32,555	+5,990	
→ 連結の借入金・社債 [b-a]	2,865	6,985	+4,119	
→ D/E比率	0.18	0.44		

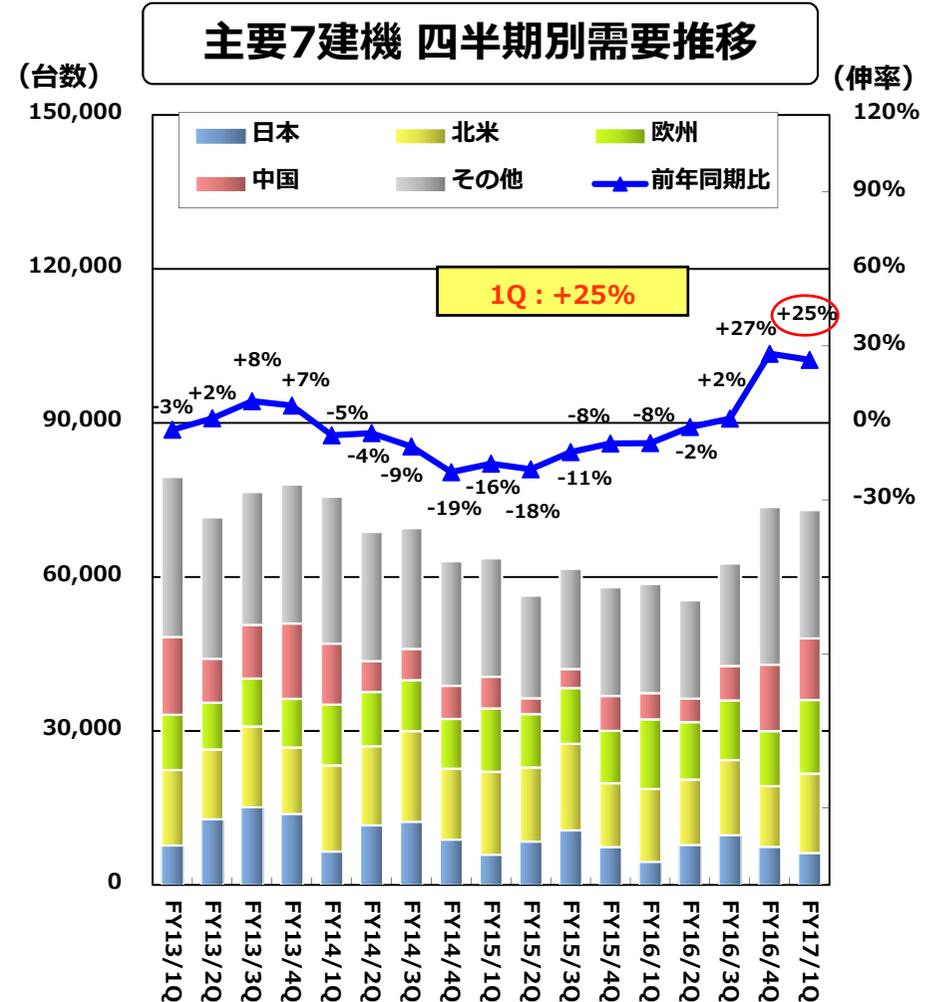
Ⅱ. <建設・鉱山機械> 需要推移と見通し

<建設・鉱山機械> 主要7建機の需要推移と見通し

- ・ 2017年度第1四半期の需要は、前年同期比+25%。
- ・ 中国やインドネシアでの需要、および鉱山機械の需要が強含み。
- ・ 年間の需要見通しは、全体として期初見通しから変更無し。



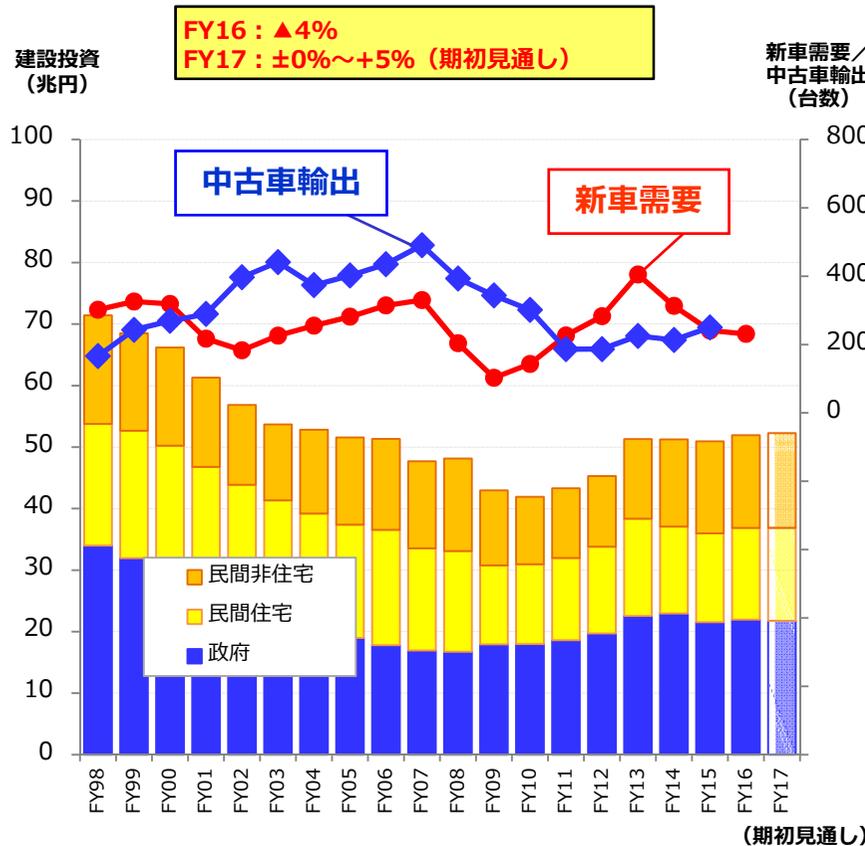
【出所】 主要7建機需要：コマツの推定



<建設・鉱山機械> 主要市場の需要推移と見通し：①日本

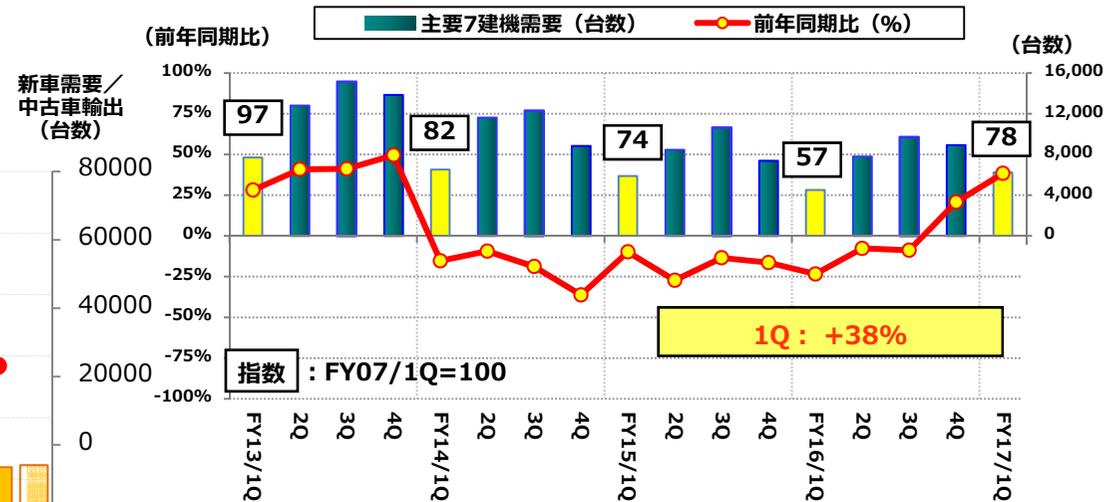
- ・ 2017年度第1四半期の需要は、前年同期比+38%。
- ・ 2016年度第4四半期から続く国内排ガス規制（2017年9月開始）前の駆け込み需要により、特にレンタル向けを中心に新車需要が増加。

新車需要（主要7建機）と建設投資

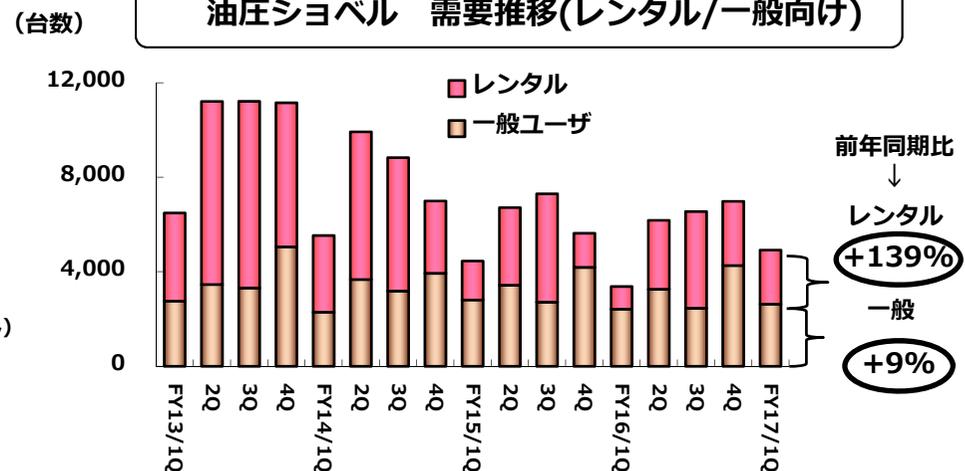


【出所】 建設投資：国土交通省／建設経済研究所
 主要7建機需要：コマツの推定
 中古車輸出货量：コマツの推定

主要7建機 四半期別需要推移



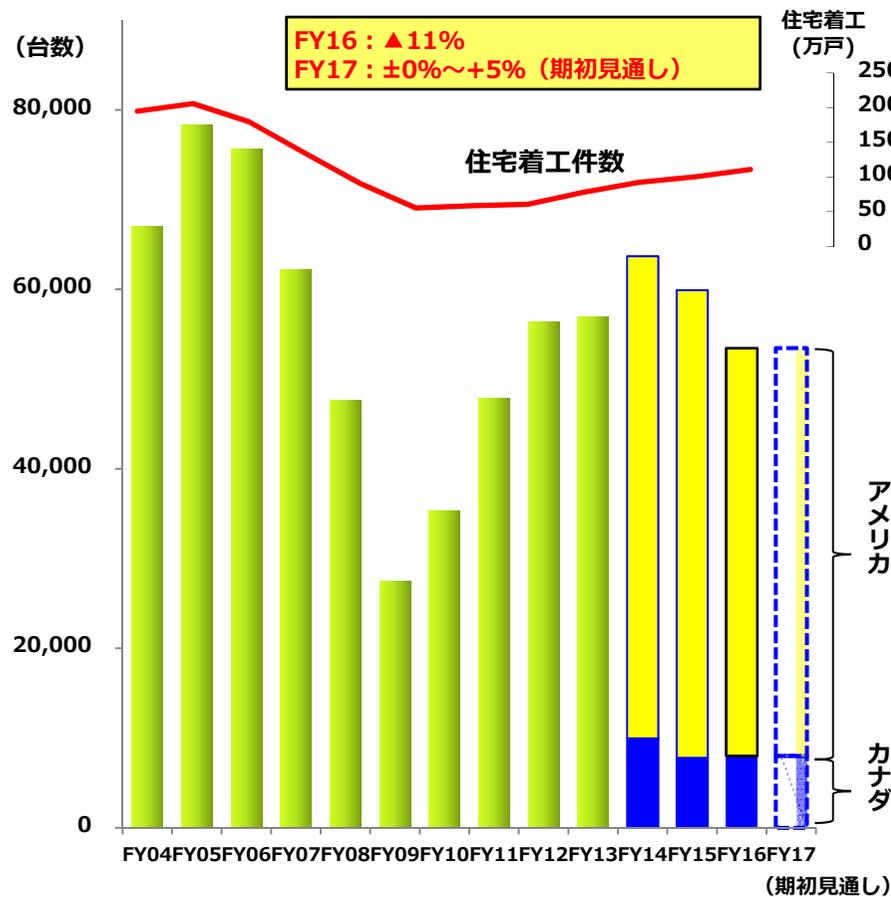
油圧ショベル 需要推移(レンタル/一般向け)



<建設・鉱山機械> 主要市場の需要推移と見通し：②北米

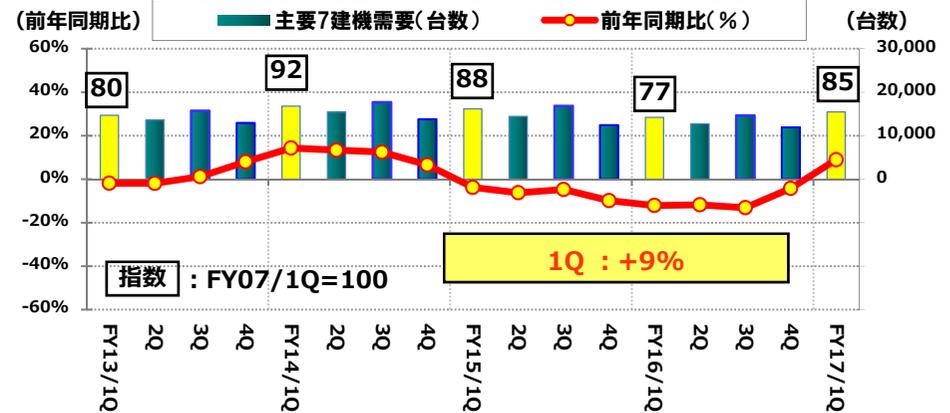
・2017年度第1四半期の需要は、前年同期比+9%。
 アメリカにおいて、一般ユーザ向けの需要は引き続き堅調に推移し、低迷していたレンタル向けも増加。
 カナダはエネルギー分野向けを中心に低迷していたが、回復基調。

主要7建機 需要推移と住宅着工件数

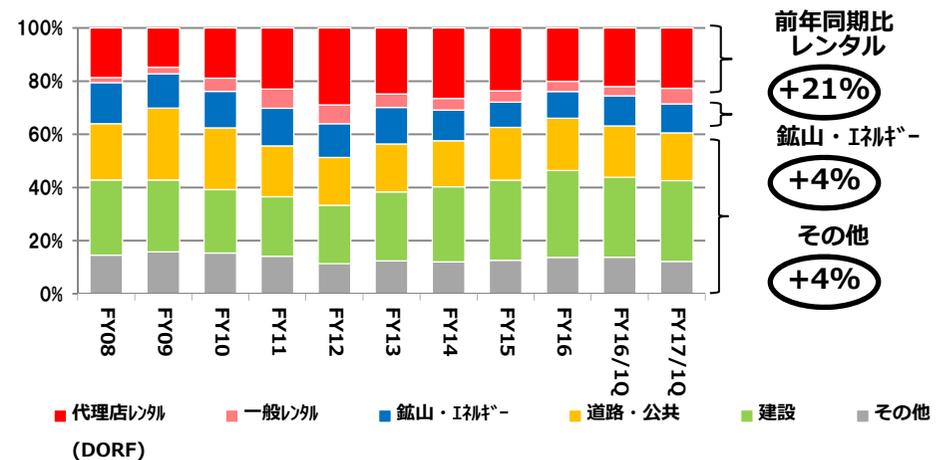


【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

主要7建機 四半期需要推移



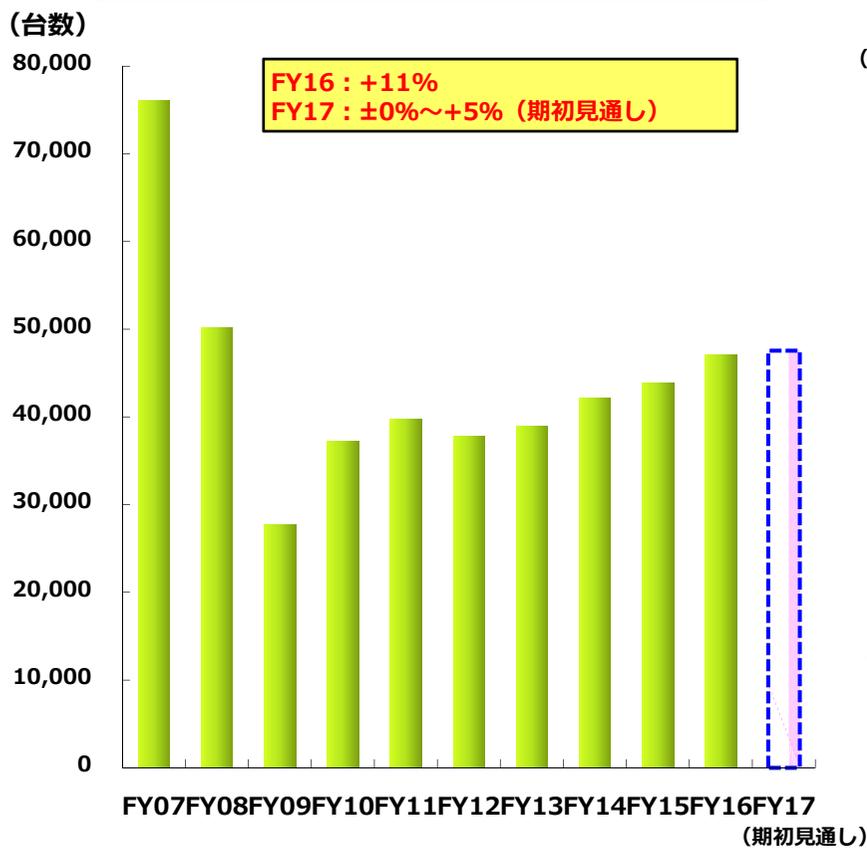
セグメント別需要構成比(台数ベース)



＜建設・鉱山機械＞ 主要市場の需要推移と見通し：③ 欧州

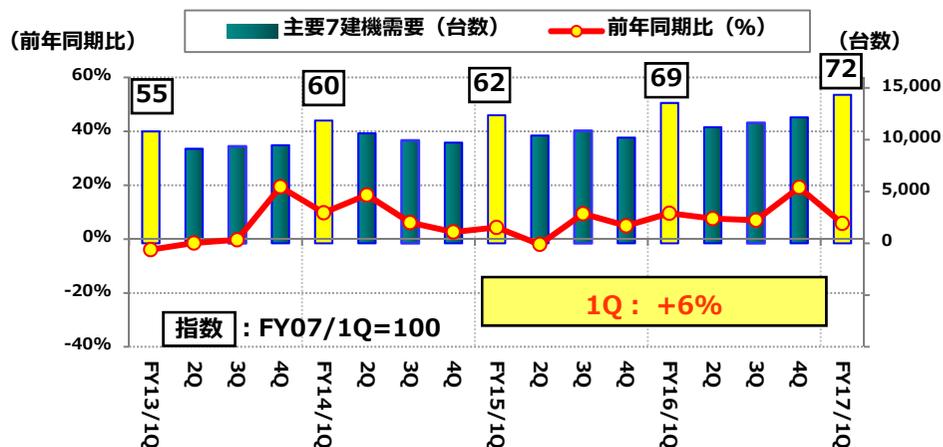
- ・ 2017年度第1四半期の需要は、前年同期比+6%。
- ・ 引き続き主要市場であるドイツに加え、北欧が堅調に推移。

主要7建機 年度別需要推移

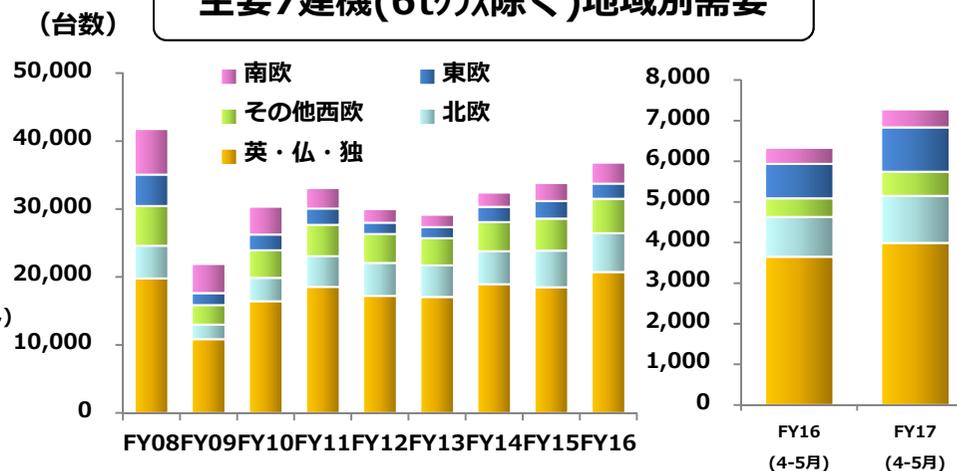


【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

主要7建機 四半期需要推移

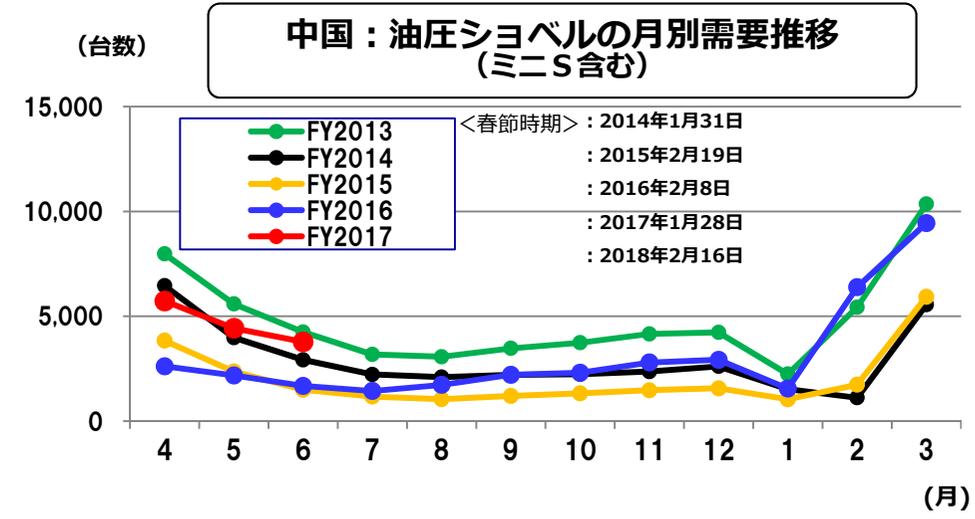
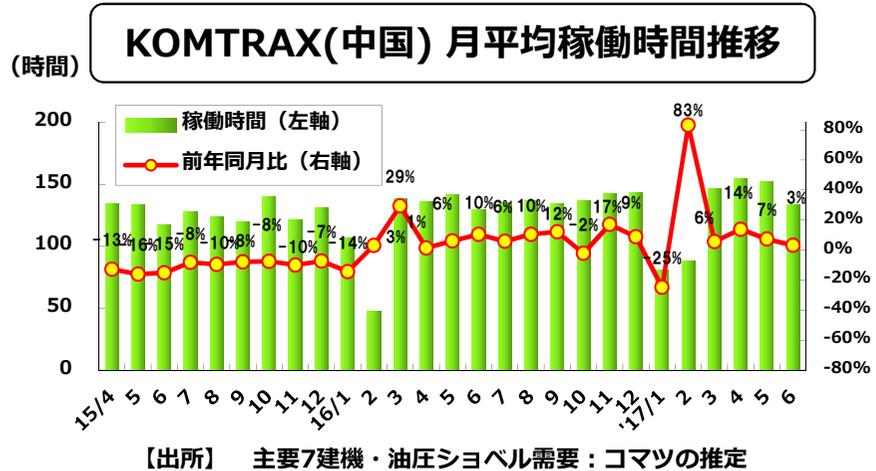
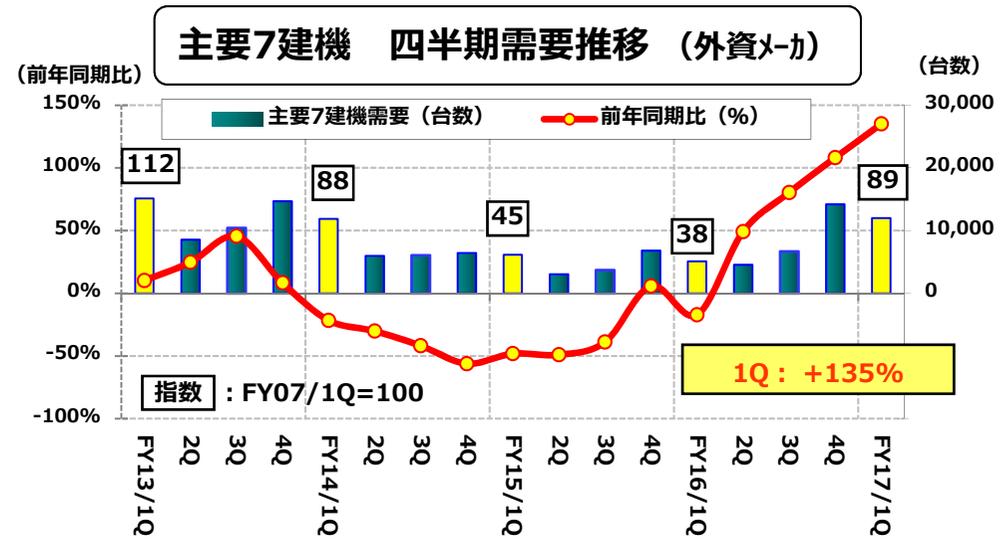
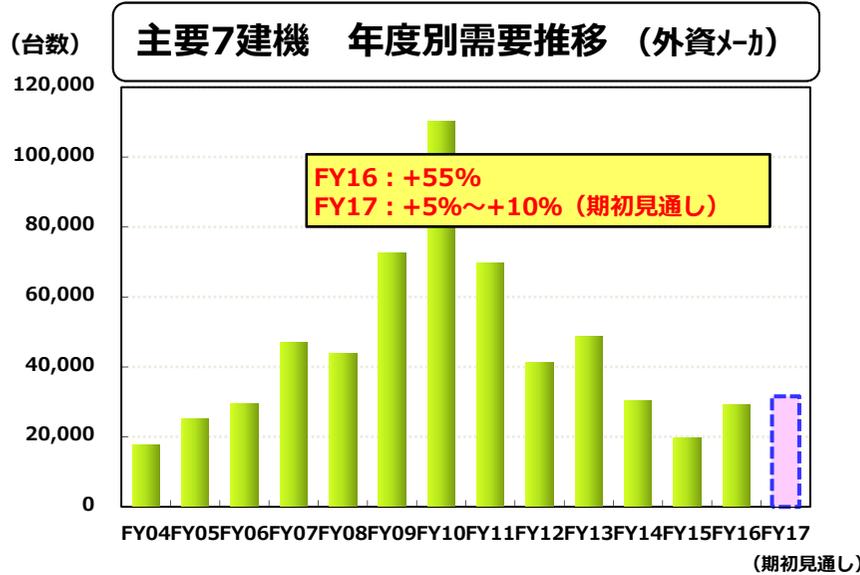


主要7建機(6tクラス除く)地域別需要



<建設・鉱山機械> 主要市場の需要推移と見通し：④中国

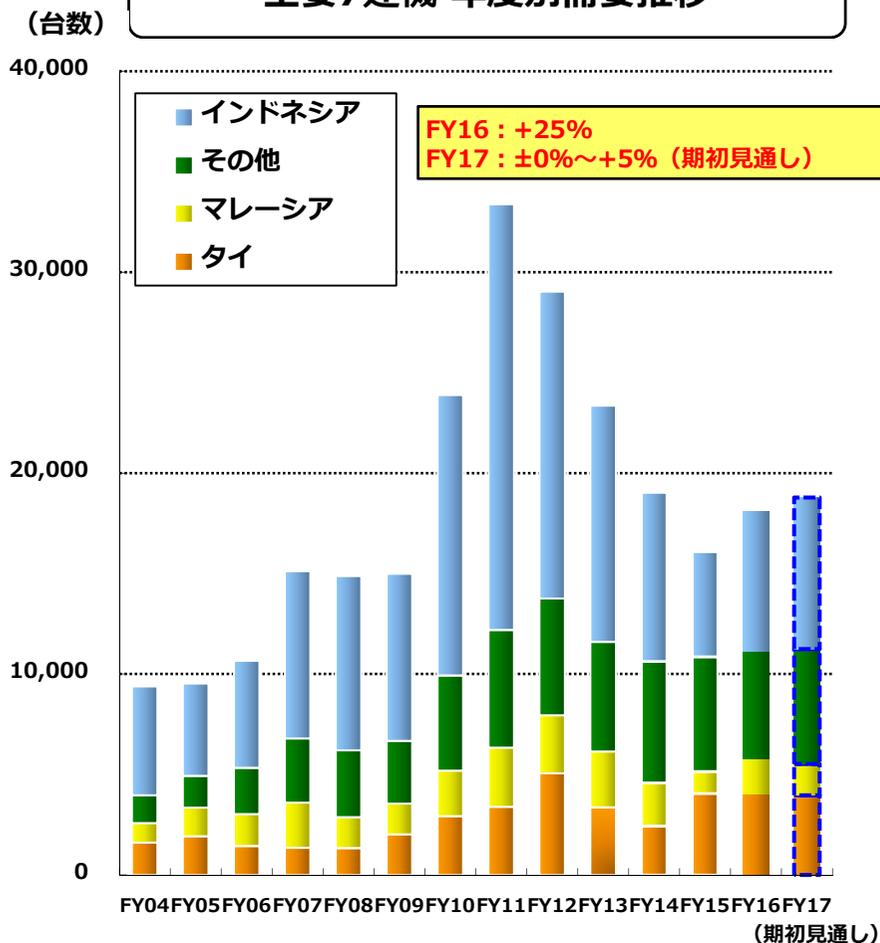
・2017年度第1四半期の需要は、前年同期比+135%。
 ・前年度に引き続き、インフラ工事が進行し、一般建機需要が伸長。



＜建設・鉱山機械＞ 主要市場の需要推移と見通し： ⑤ 東南アジア

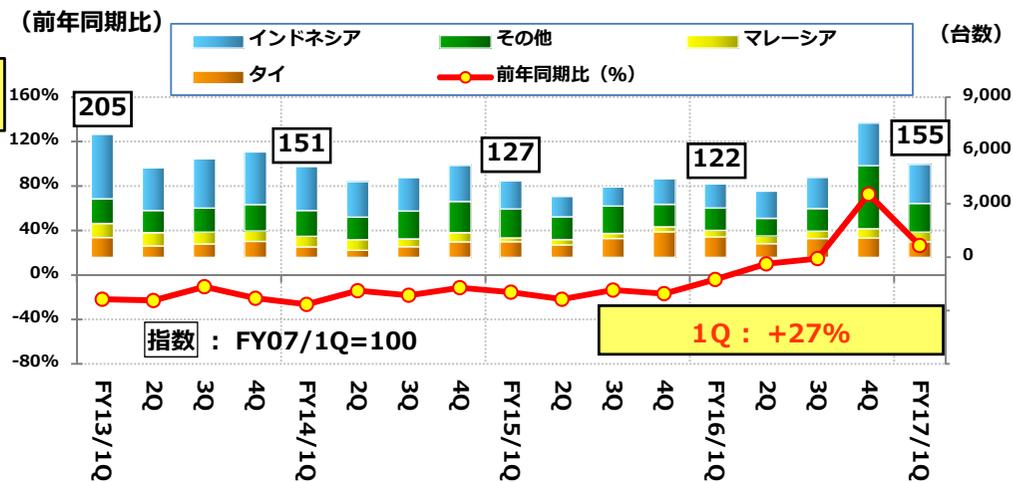
- ・ 2017年度第1四半期の需要は、前年同期比+27%。
- ・ 最大市場のインドネシアで特にマイニングの需要が増加。タイの需要は減少傾向。

主要7建機 年度別需要推移

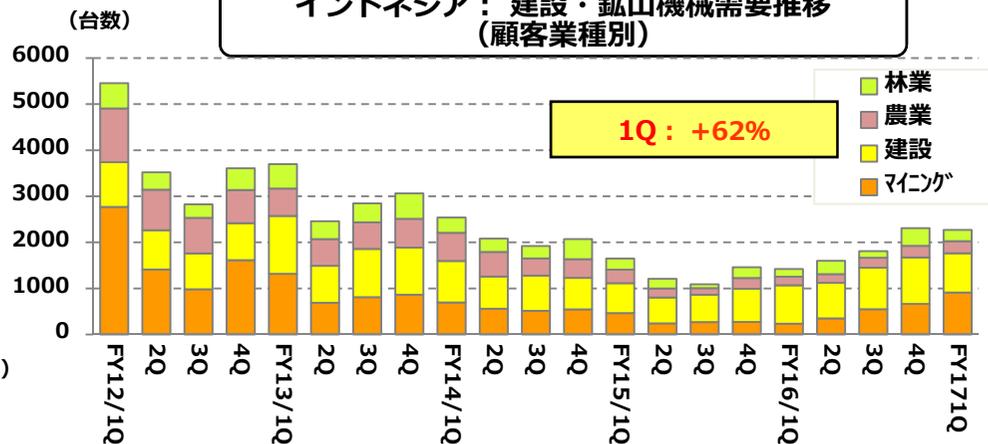


【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

主要7建機 四半期需要推移



インドネシア：建設・鉱山機械需要推移 (顧客業種別)

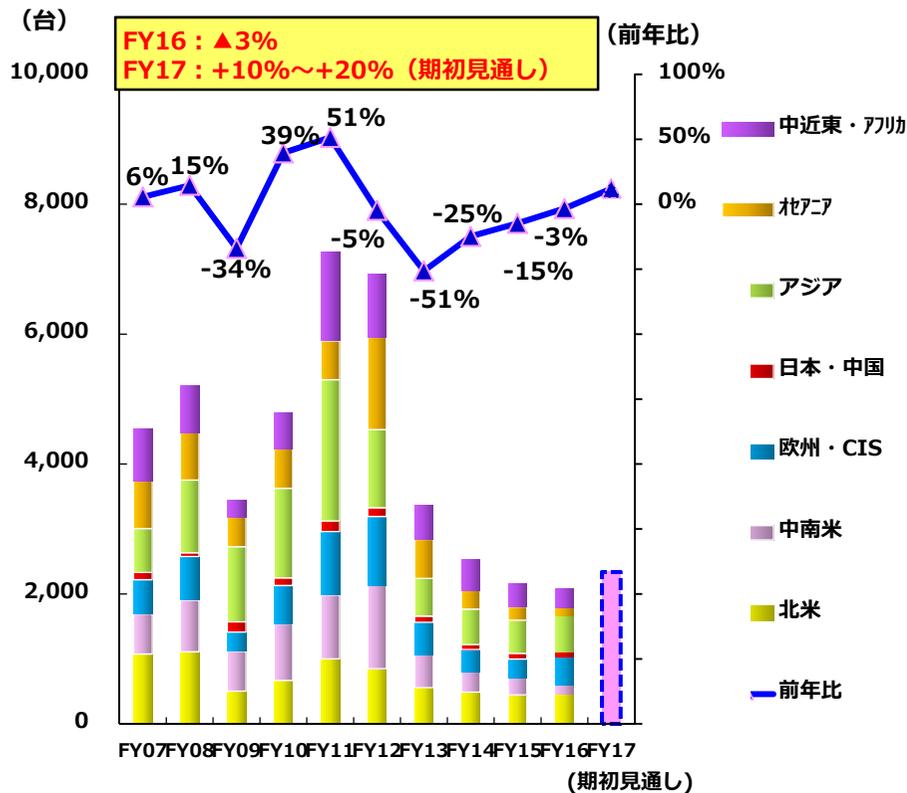


<建設・鉱山機械> 鉱山機械の需要推移と見通し

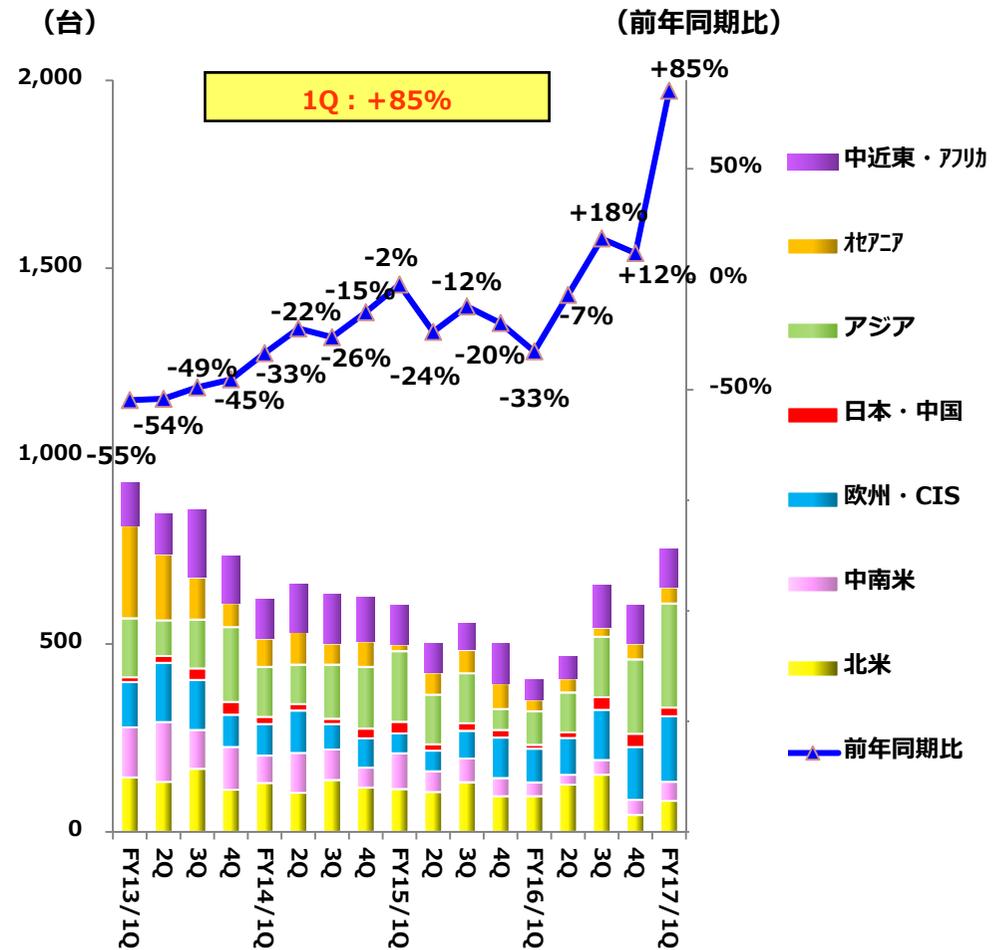
- ・2017年度第1四半期の鉱山機械の世界需要は、前年同期比+85%。
- ・引き続きインドネシアなどで需要が増加。
- ・年間の需要見通しは、全体として期初見通しから変更無し。

鉱山機械 年度別需要推移

・ダンプトラック：75 t (HD785) 以上 ・フルパワー：525HP (D375) 以上
 ・エクスカバータ：200 t (PC2000) 以上 ・ホイローダ：810HP (WA800) 以上
 ・モータグレーダ：280HP (GD825) 以上

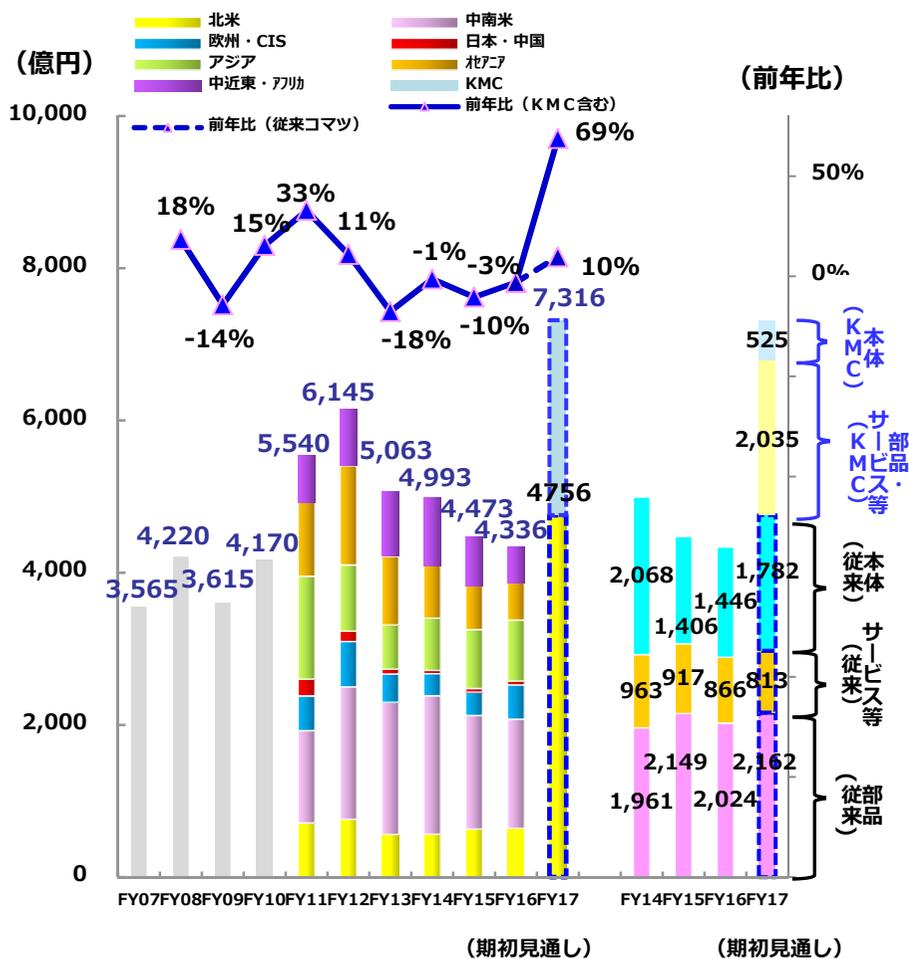


鉱山機械 四半期別需要推移

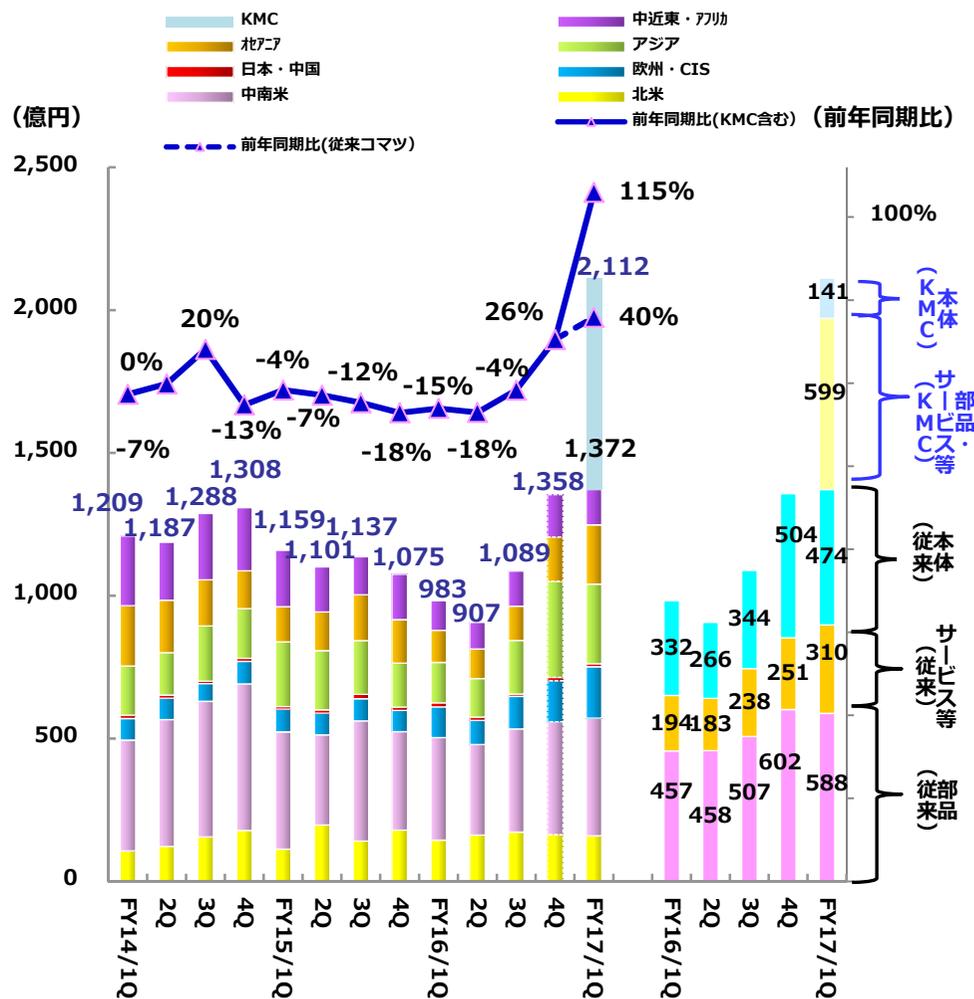


- ・ 2017年度第1四半期の売上高は、前年同期比+115%増の2,112億円。KMCを除く従来コマツのベースでは前年同期比+40%増の1,372億円。
- ・ 従来コマツのベースでは、インドネシアなどでの需要増加の影響を受け、本体、部品、サービスともに売上が伸長。

鉱山機械 年度別売上高 (部品・サービス含む)



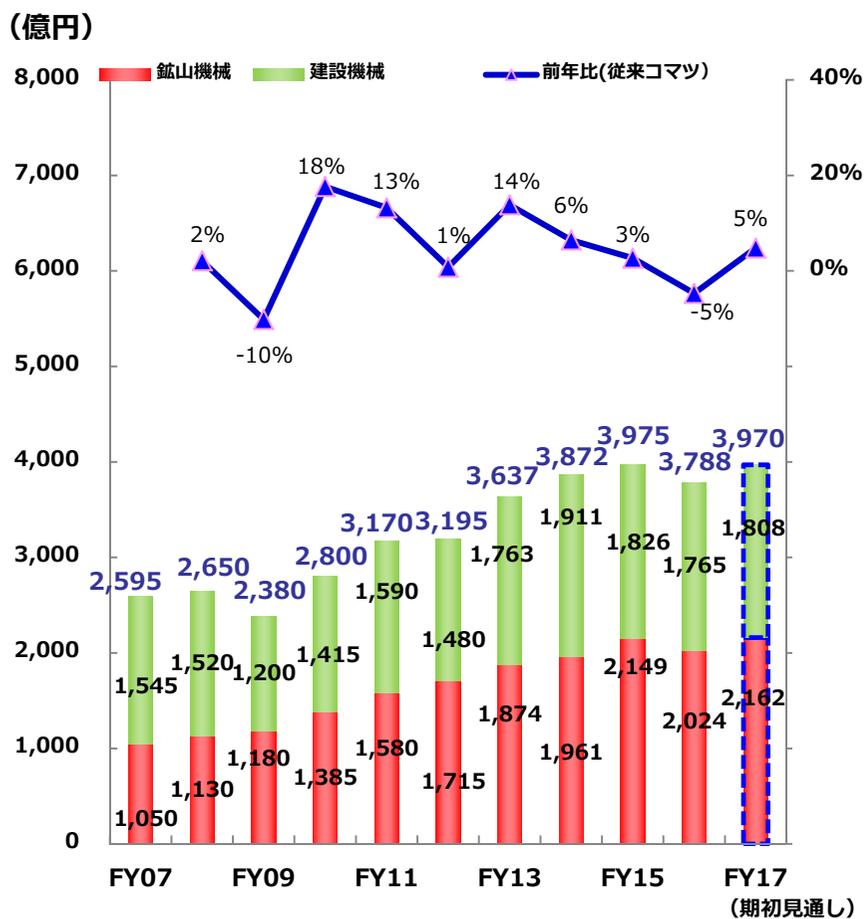
鉱山機械 四半期別売上高 (部品・サービス含む)



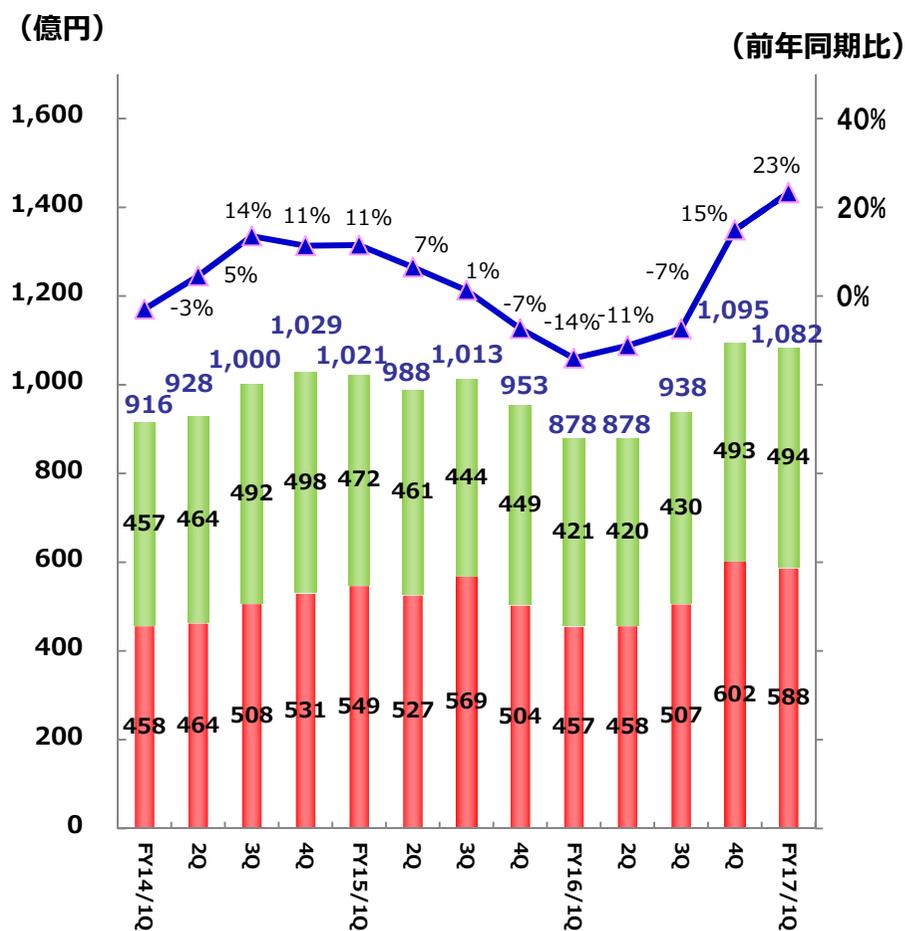
<建設・鉱山機械> 部品の売上高

- ・ 2017年度第1四半期の従来コマツのベースでの部品売上高は、前年同期比+23%増の1,082億円。
- ・ アフターマーケットの需要を確実に取り込んだ結果、当期の売上げが伸長。

部品売上高



四半期別 部品売上高推移



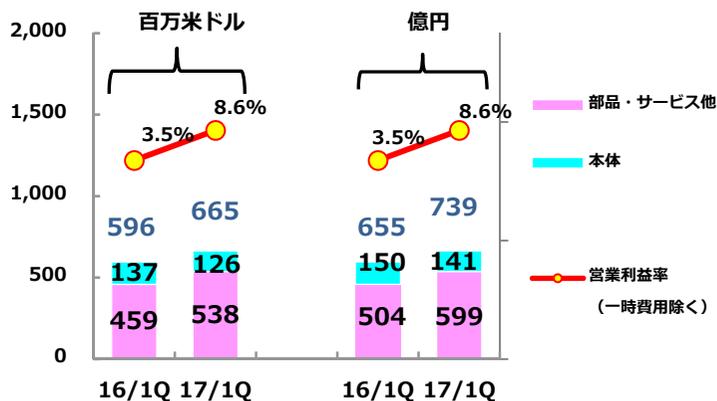
2017年度 第1四半期(4-6月)KMCの概況

- ・売上高は、前年同期比+12.9%増の739億円。
- ・一時費用除く営業利益は63億円。一時費用▲193億円を含めると▲129億円の営業損失。

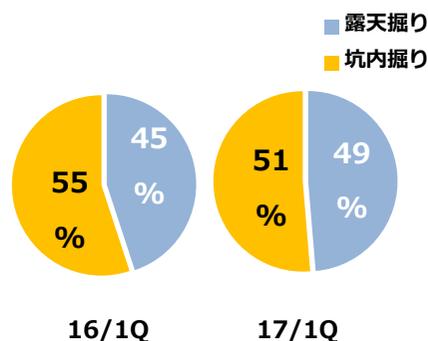
(金額単位：億円)	2016年4-6月 (参考) ※1 (¥109.8/USD)		2017年4-6月 (¥111.2/USD)		前年同期比(参考)	
					増減	増減率
売上高	655	739	+84	+12.9%		
本体	150	141	▲9	▲6.4%		
部品・サービス等	504	599	+94	+18.8%		
営業利益 <一時費用除く>	3.5% 23	8.6% 63	+40	+175.8%		
一時費用 (マイナスで表記)	▲41	▲193	▲152	-		
PPAによる償却費 ※2	-	※3 ▲166	▲166	-		
スタートアップ費用ほか	▲41	▲26	+14	-		
営業利益 (▲損失) <一時費用含む>	▲2.7% ▲17	▲17.5% ▲129	▲111	-		

※1：前年同期である2016年4-6月(コマツの決算期に組替)の数値を参考に記載している。
 ※2：PPAは、Purchase Price Allocation(パーチェス・プライス・アロケーション)の略で資産・負債を公正価値評価/配分する手続き
 ※3：うち棚卸資産に係るPPAによる償却費 ▲129億円

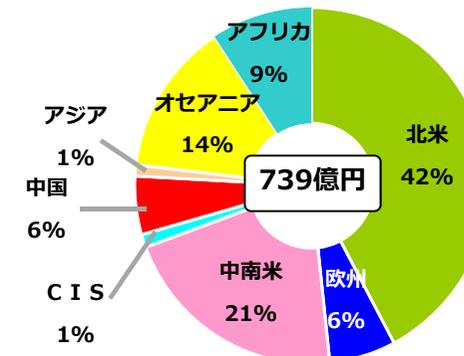
四半期別売上高・営業利益率の推移



セグメント別売上高



171Q 地域別売上高 ※4

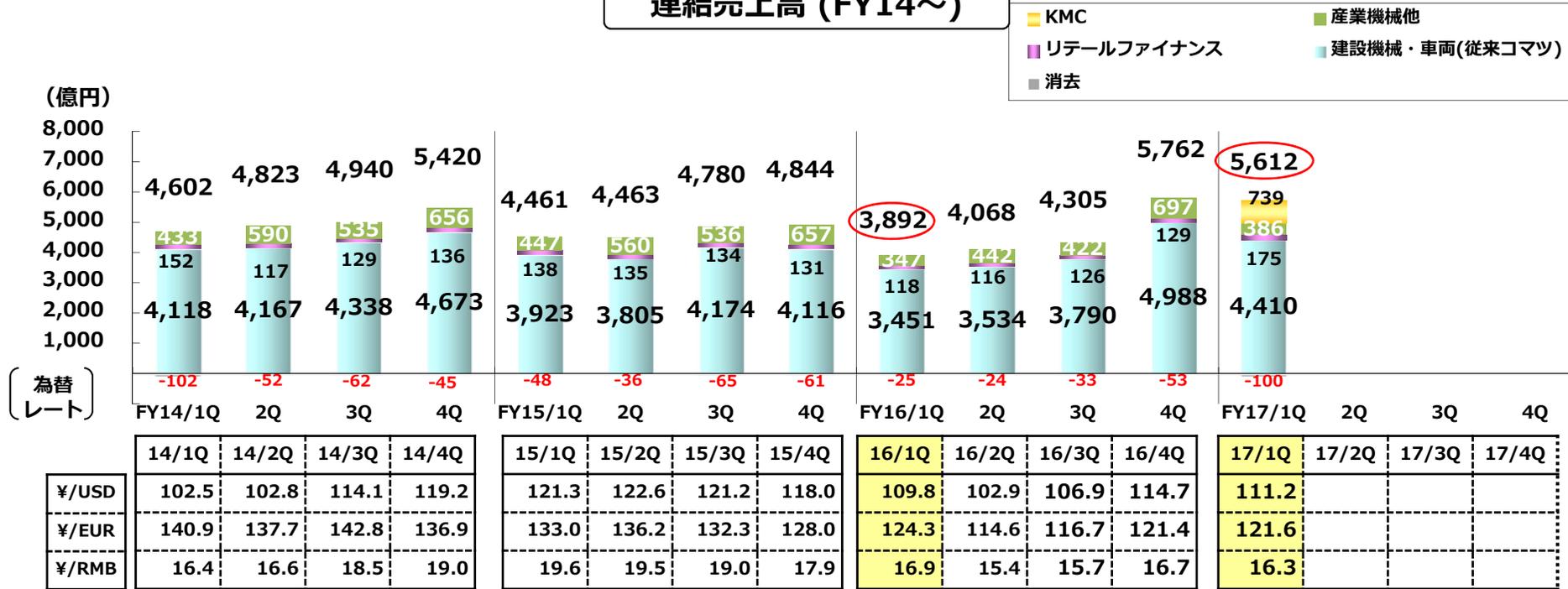


※4：日本と中近東における売上は無し

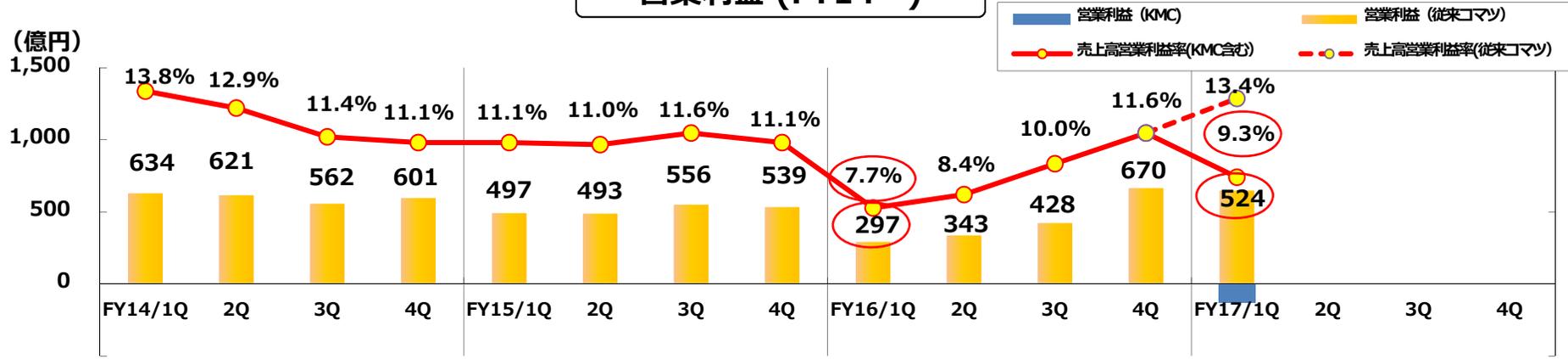
参考資料

【参考資料】 四半期毎の売上高と営業利益の推移

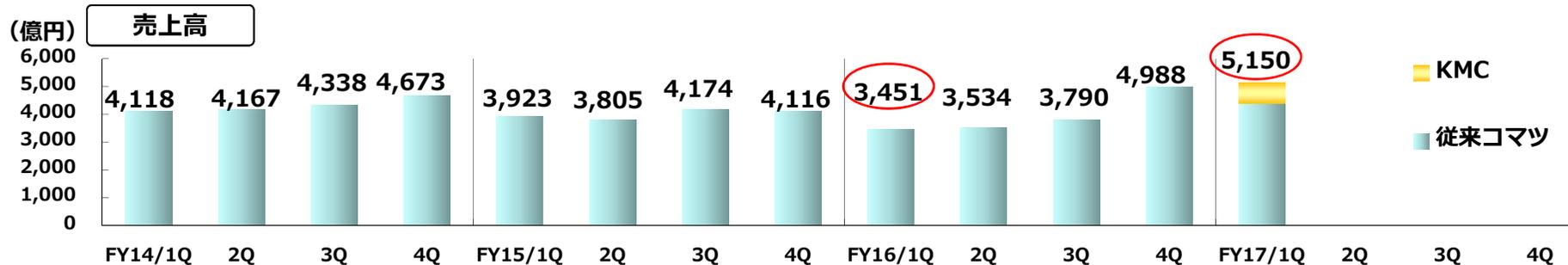
連結売上高 (FY14~)



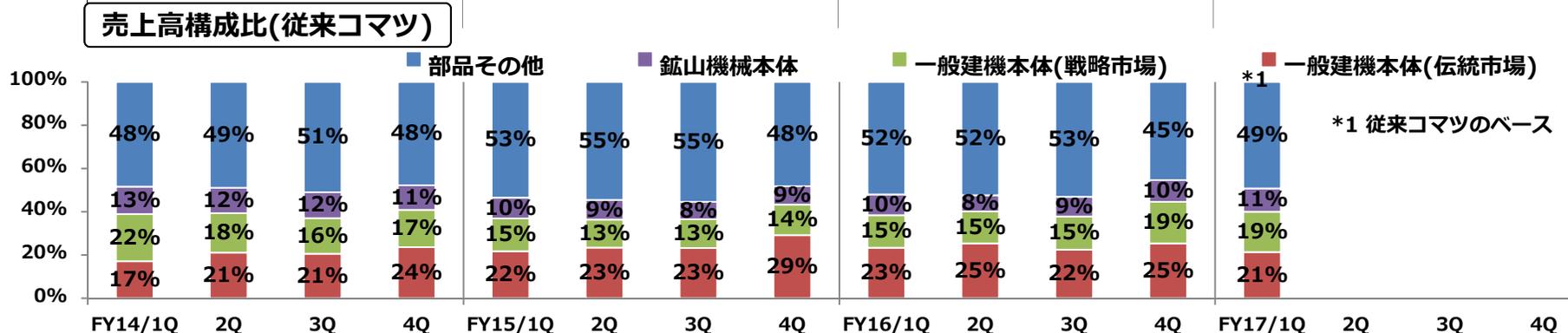
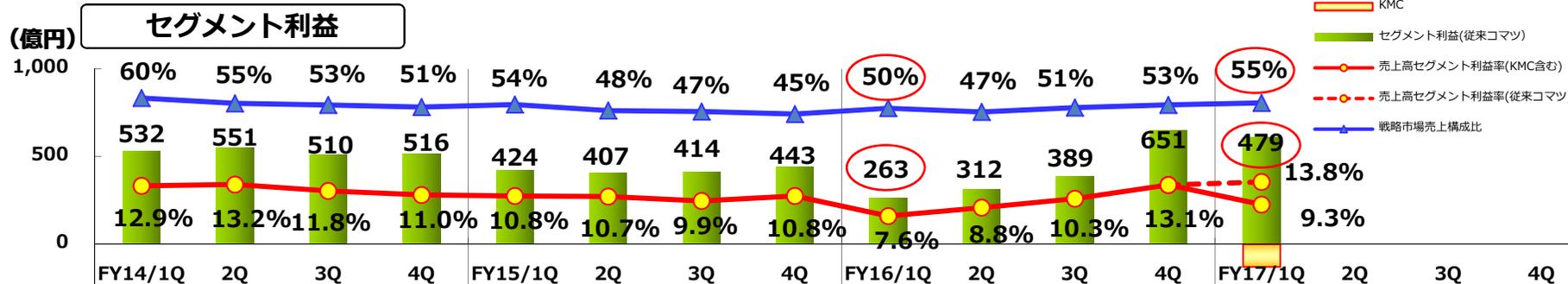
営業利益 (FY14~)



<建設機械・車両> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

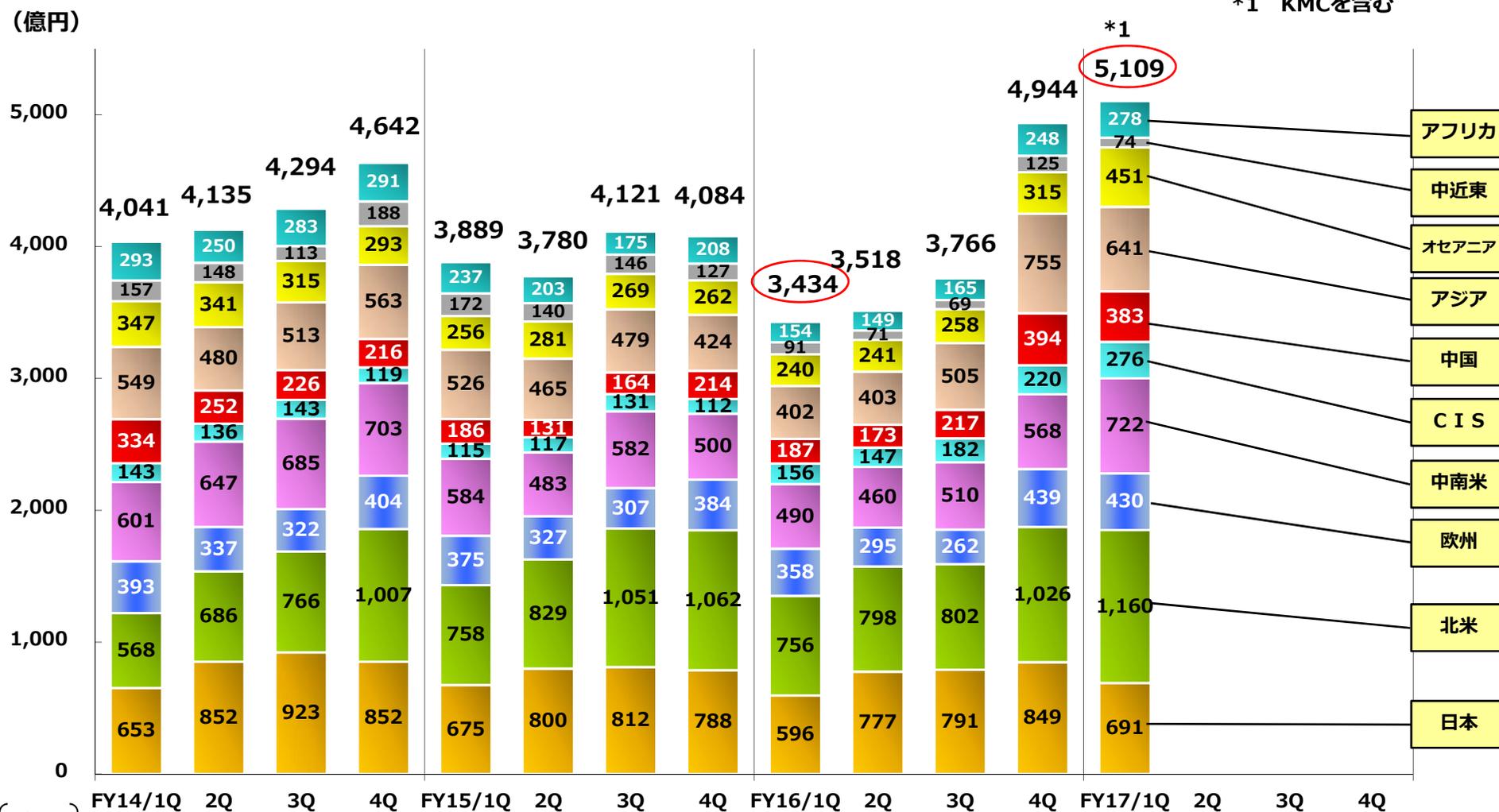


	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/4Q	17/1Q	17/2Q	17/3Q	17/4Q
¥/USD	102.5	102.8	114.1	119.2	121.3	122.6	121.2	118.0	109.8	102.9	106.9	114.7	111.2			
¥/EUR	140.9	137.7	142.8	136.9	133.0	136.2	132.3	128.0	124.3	114.6	116.7	121.4	121.6			
¥/RMB	16.4	16.6	18.5	19.0	19.6	19.5	19.0	17.9	16.9	15.4	15.7	16.7	16.3			



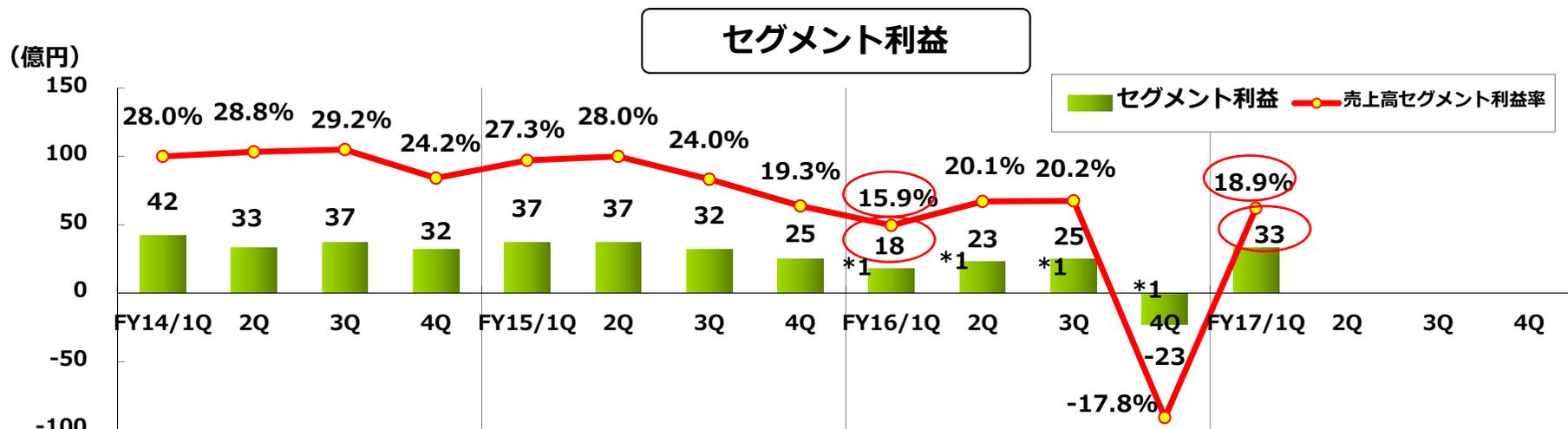
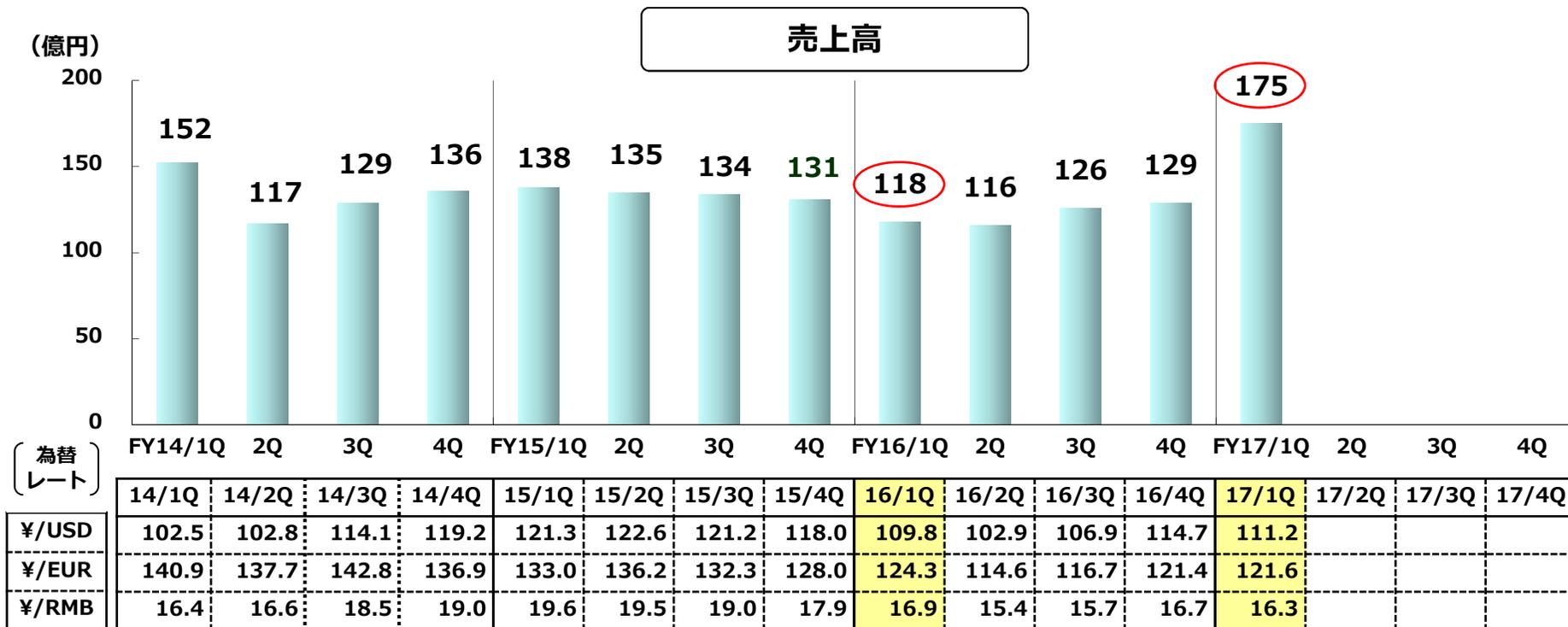
<建設機械・車両> 四半期毎の地域別売上高（外部顧客向け）

*1 KMCを含む

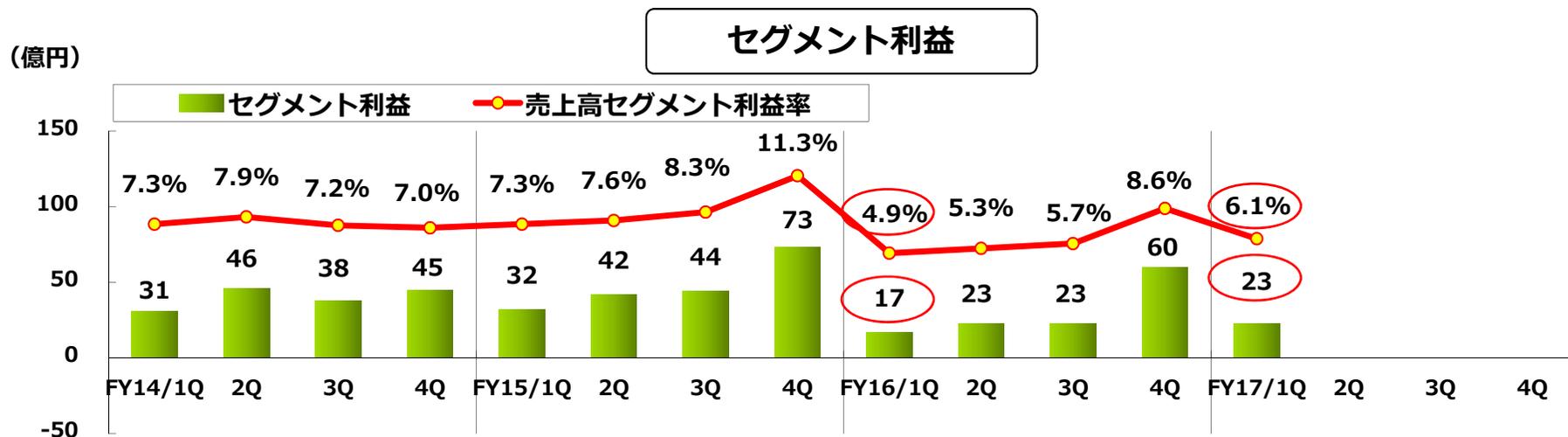
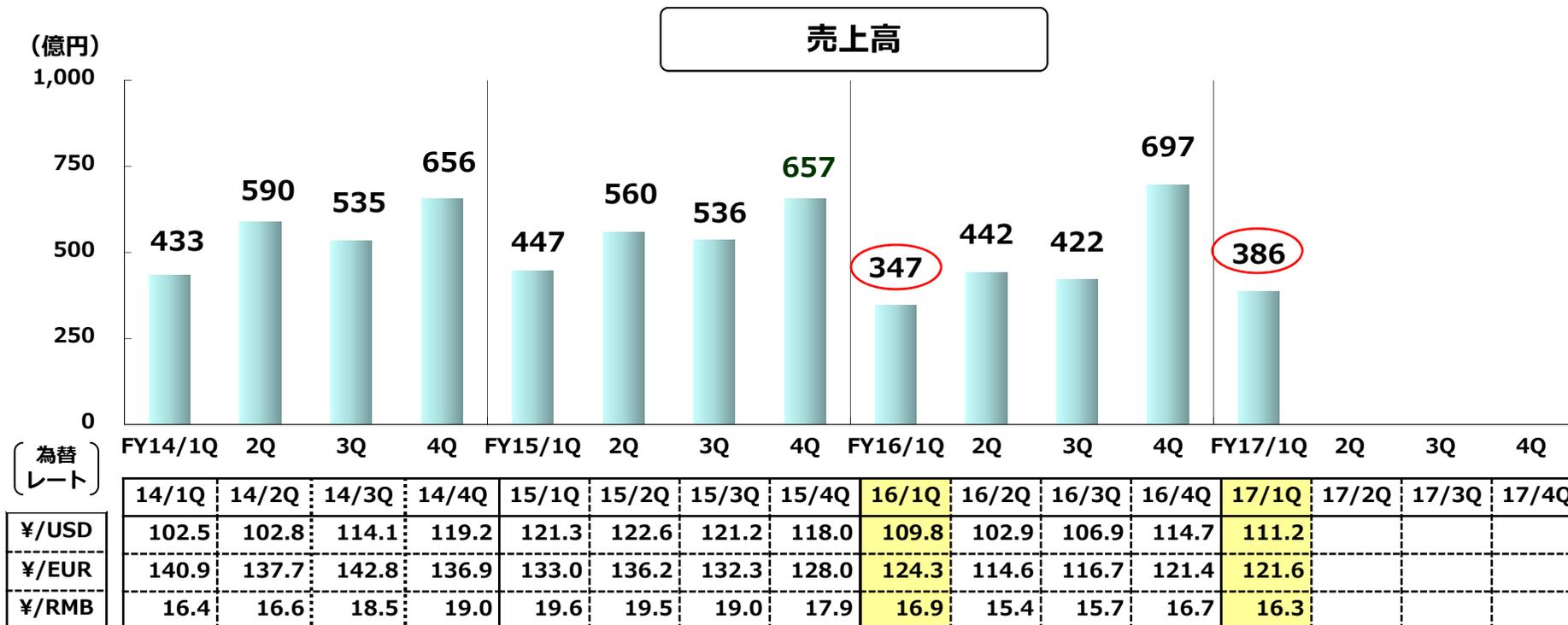


為替レート

	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/4Q	17/1Q	17/2Q	17/3Q	17/4Q
¥/USD	102.5	102.8	114.1	119.2	121.3	122.6	121.2	118.0	109.8	102.9	106.9	114.7	111.2			
¥/EUR	140.9	137.7	142.8	136.9	133.0	136.2	132.3	128.0	124.3	114.6	116.7	121.4	121.6			
¥/RMB	16.4	16.6	18.5	19.0	19.6	19.5	19.0	17.9	16.9	15.4	15.7	16.7	16.3			

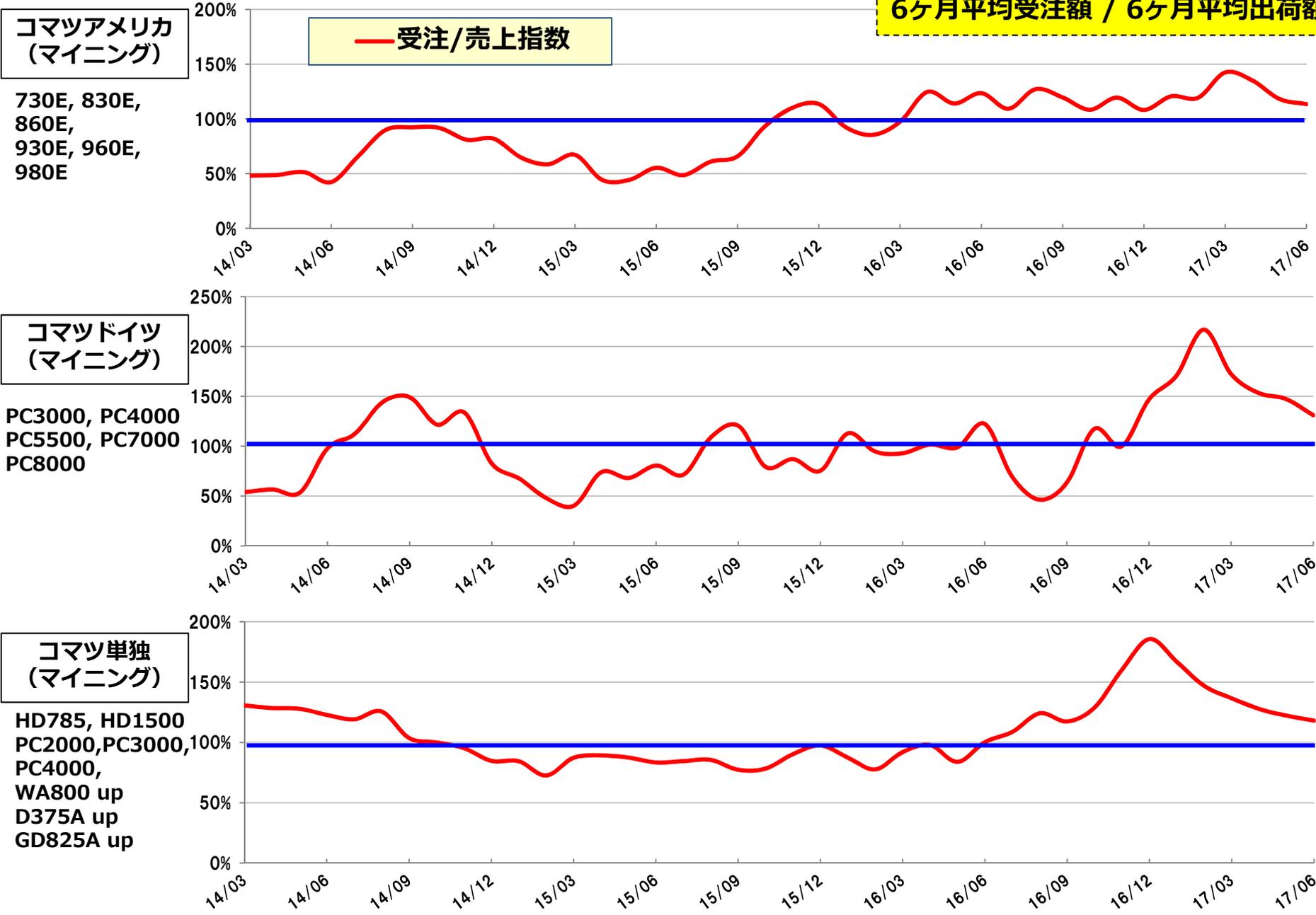


*1 中国の債権に係る引当金の計上を含む (FY16/1Q:▲10億円、2Q:▲5億円、3Q:▲2億円、4Q:▲49億円)

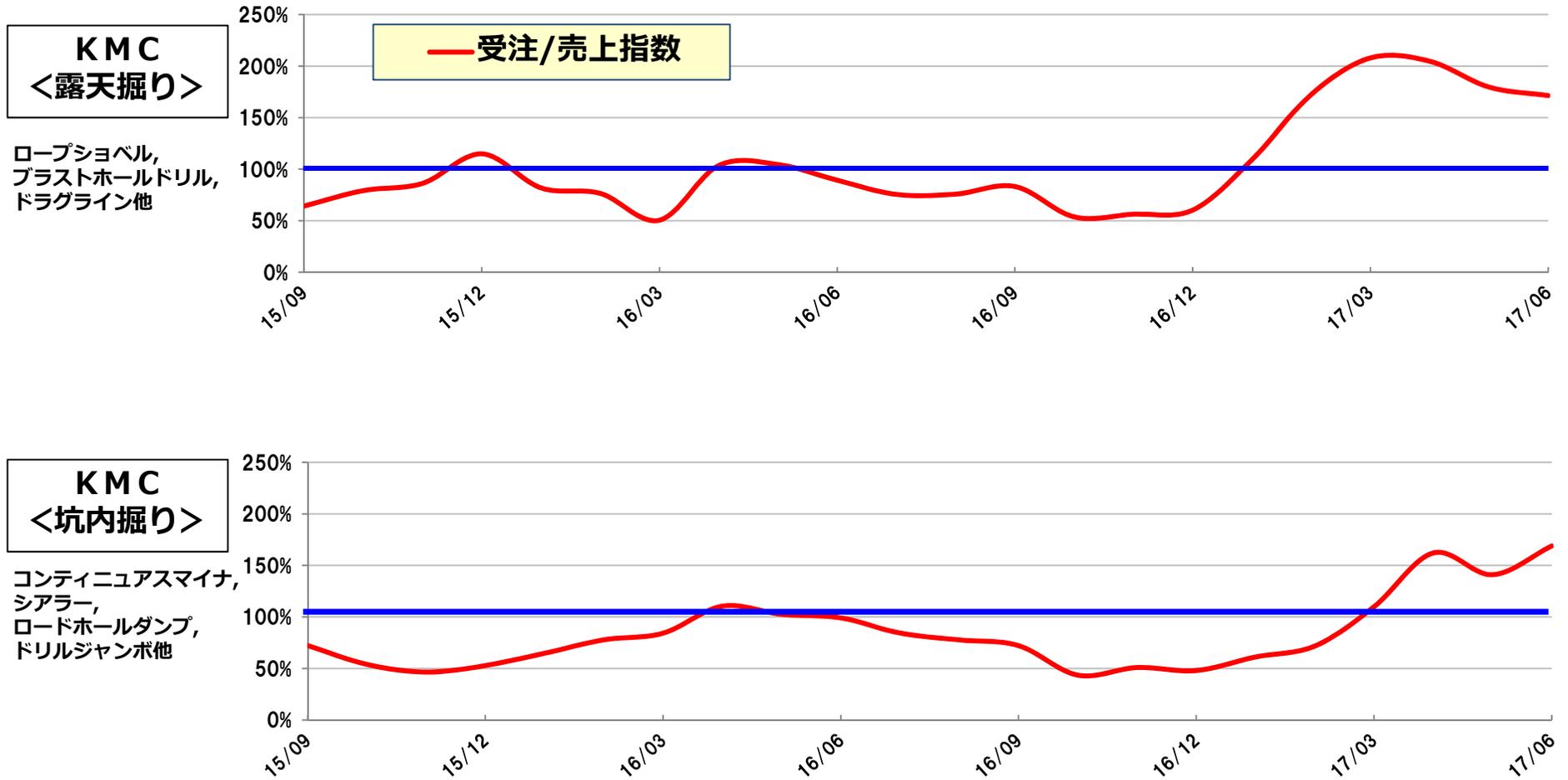


鉱山機械（本体） 受注／売上指数（6ヶ月）

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額

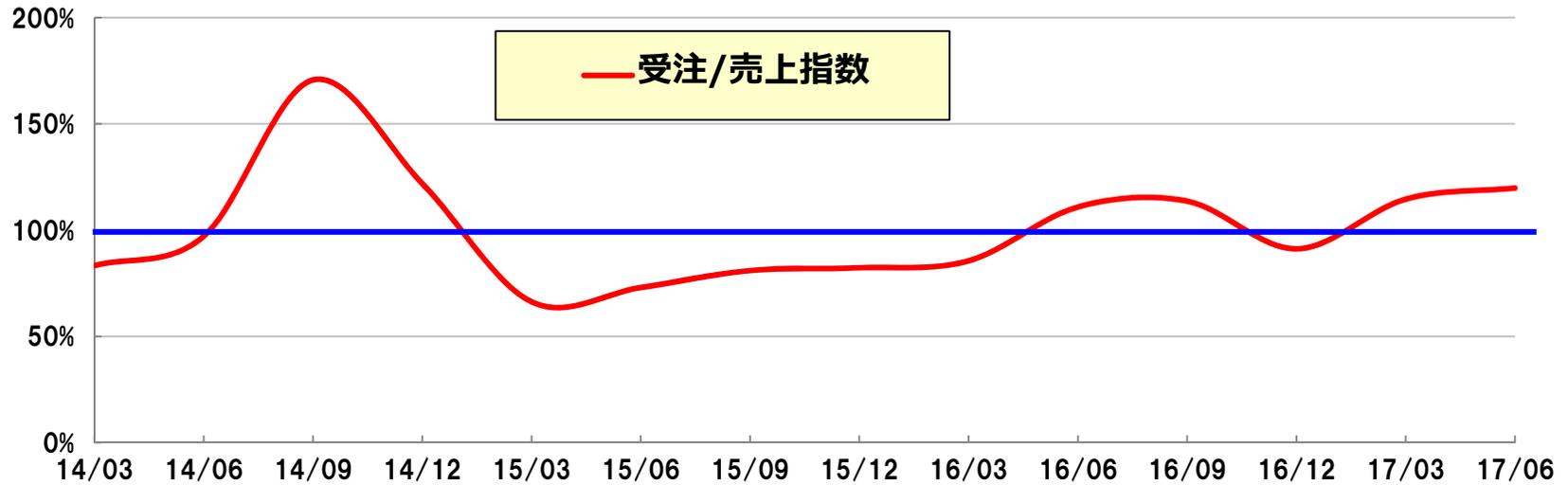


6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額

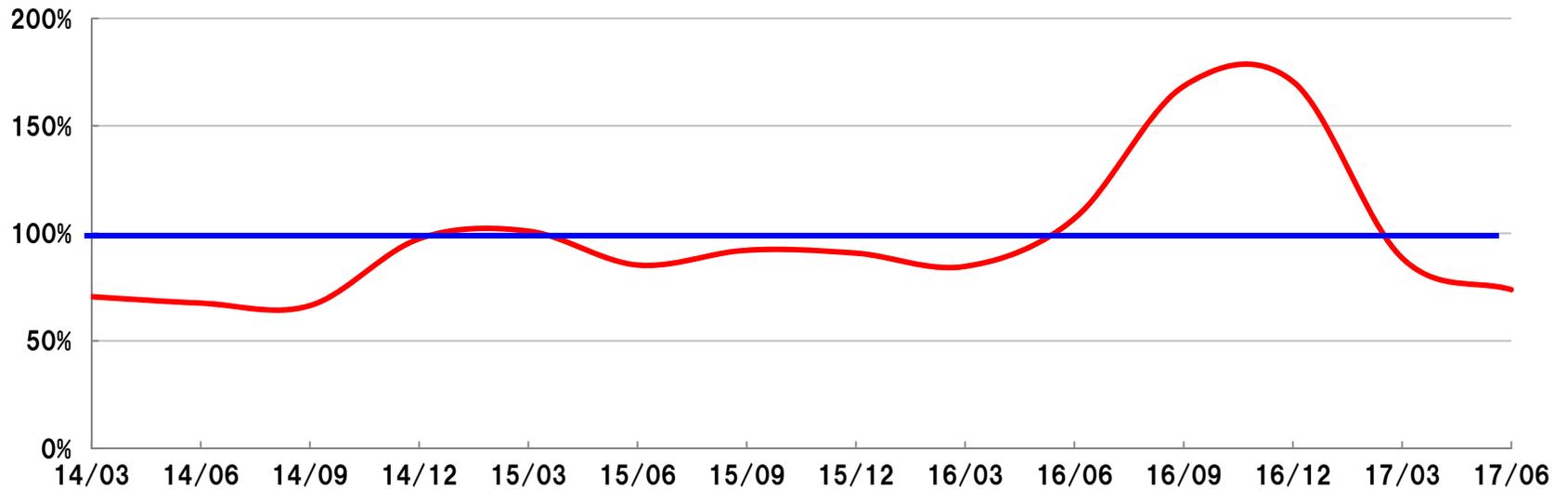


コマツ産機

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額



コマツNTC
(除くワイヤーソー)



- ・コマツ、(株)NTTドコモ、SAPジャパン(株)、(株)オプティムは、建設生産プロセスに関与する、土・機械・材料などのあらゆる「モノ」をつなぐ新プラットフォーム「LANDLOG (ランドログ)」を2017年10月に建設事業者向けに提供開始することをめざし、4社共同で企画・運用することに合意しました(2017年7月19日)。

LANDLOG (ランドログ)

建設生産プロセスのイノベーションを加速させるオープンプラットフォーム

SMART CONSTRUCTION



「コト」データの構築スピード

プラットフォームの拡張性

オープン・イノベーション

グローバルへの展開

LANDLOG



新型コントローラの採用により
生産性が大きく向上した
3次元ファイバーレーザー加工機
「TLH508」

高付加価値加工と高生産性を両立
するACサーボプレス「H1F150-2」



高生産性と高精度加工を両立する
ハイドロリックACサーボドライブ
プレスブレーキ「PVS1353-NET」



- ・コマツ産機株式会社は、2017年7月、東京ビッグサイトで開催された「MF-Tokyo2017」(第5回プレス・板金・フォーミング展)に最新鋭の産業機械を出展しました。
- ・「未来のGEMBAを提案 ~KOM-MICSから広がる未来工場~」をテーマに、コマツ独自のIoT生産支援プラットフォーム「KOM-MICS」も紹介し、多くの来場者の注目を集めました。

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。